

令和7年 第1回

才一才一 研修

4月14日（月） 15:00

大鉄工業(株) 建築支店

建築支店長より挨拶

藤田本部長より挨拶

お知らせ

建築支店長より

令和7年 第1回 オーナー研修

和7年4月14日

取引先各位

大鉄工業株式会社
建 築 支 店

令和7年度 賃金又は物価変動に伴う価格協議のご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

標題について、工事下請基本契約書及び工事下請契約約款第29条「賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更」に基づき契約工期内に価格交渉の申入れの必要がございましたら、価格協議を行いますので労務費上昇の理由の説明や価格変動の根拠資料（公表資料を用いても差し支えございません）とともに書面による申入書を提出していただくようお願い申し上げます。

申入書の提出先、ご不明な点、ご質問などにつきましては、建築支店の総務部にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

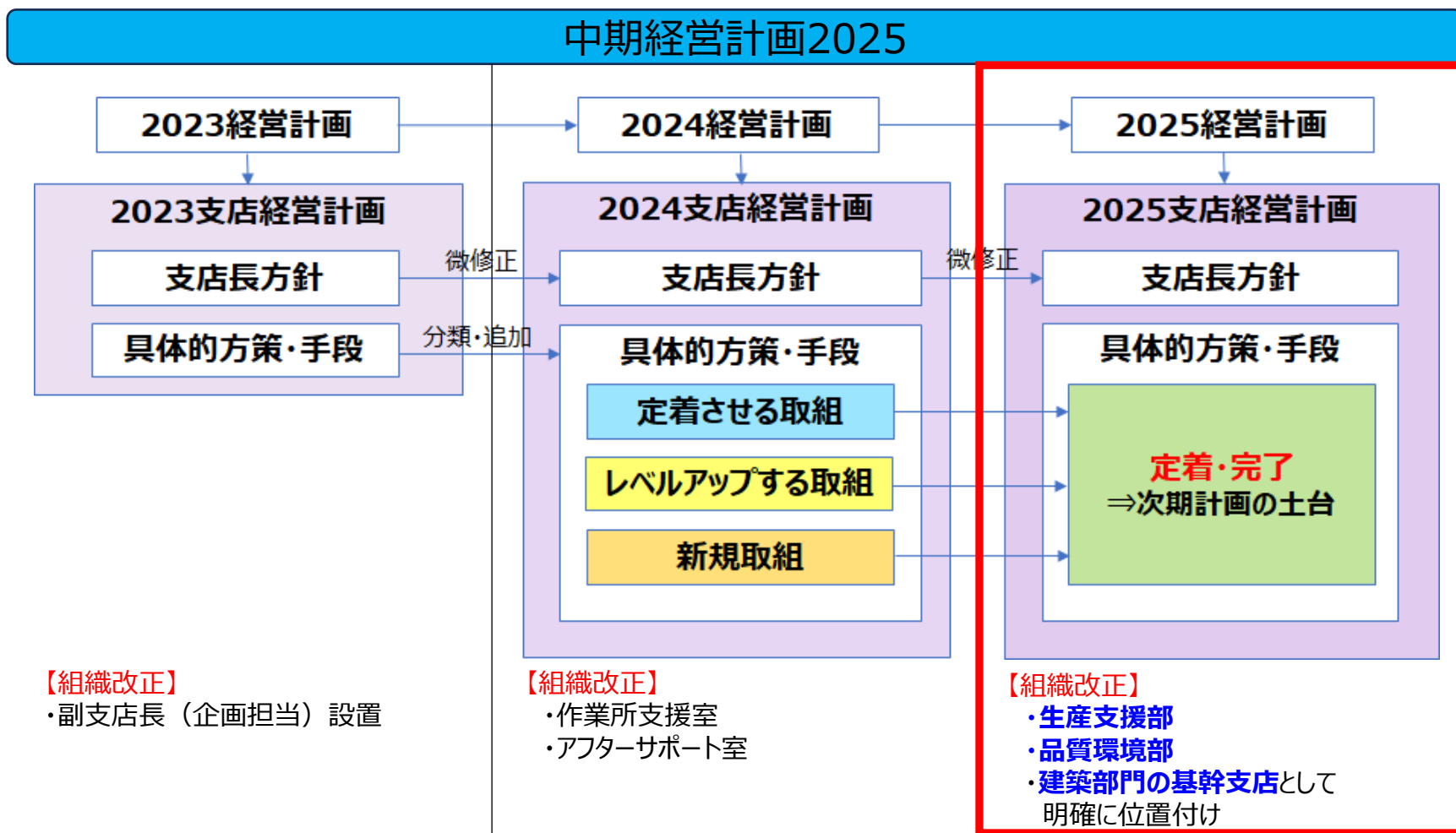
敬 具

問い合わせ先
大鉄工業(株) 建築支店
総務部担当 松島芳明
TEL : 06-6195-6160

令和7年度 建築支店の 取組について（全体）

伊藤副支店長

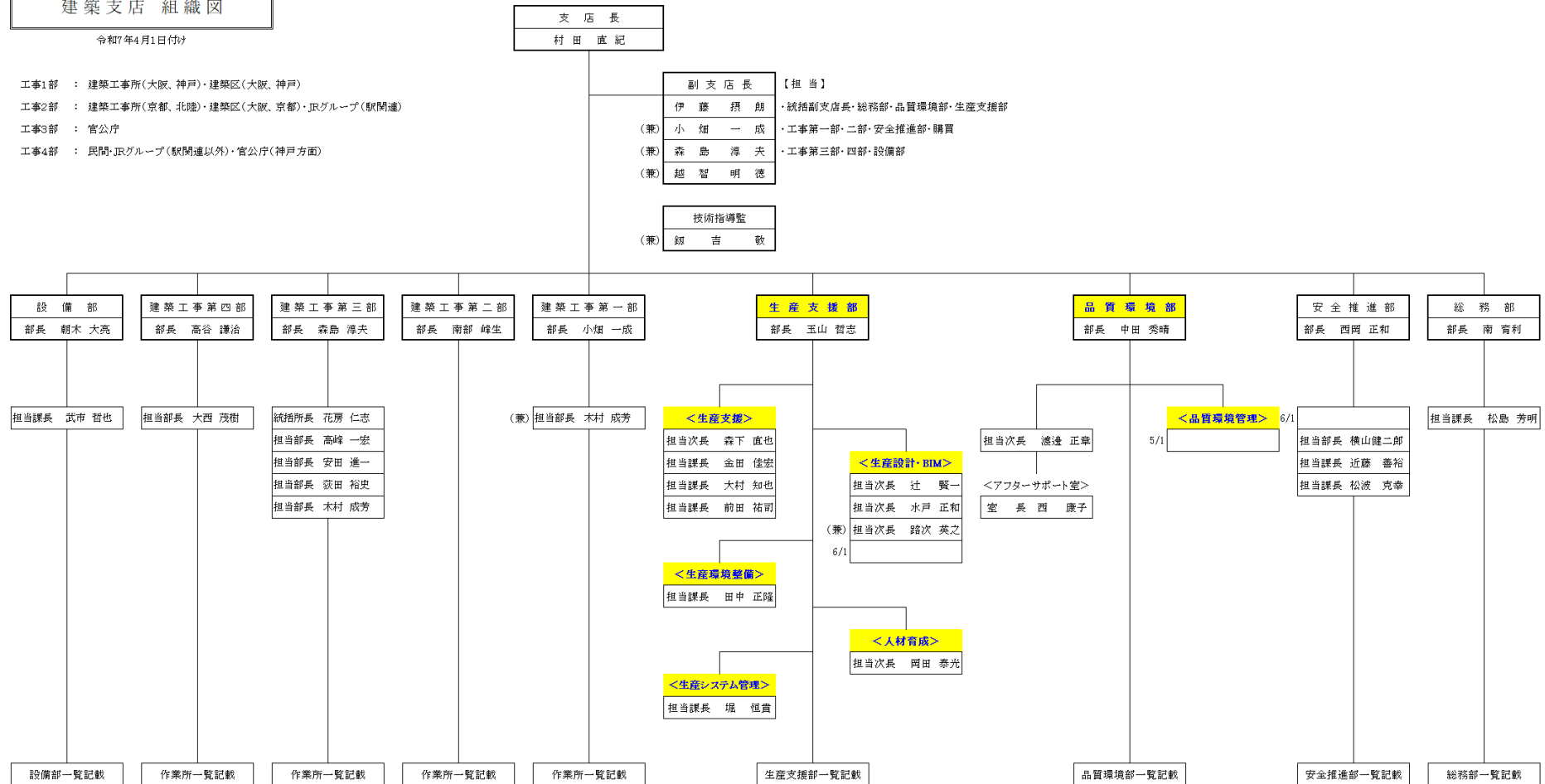
中期経営計画2025達成に向けた建築支店の取組の経緯と概要



建築支店 組織図

令和7年4月1日付け

- 工事1部：建築工事所(大阪、神戸)・建築区(大阪、神戸)
- 工事2部：建築工事所(京都、北陸)・建築区(大阪、京都)・JRグループ(駅関連)
- 工事3部：官公庁
- 工事4部：民間・JRグループ(駅関連以外)・官公庁(神戸方面)

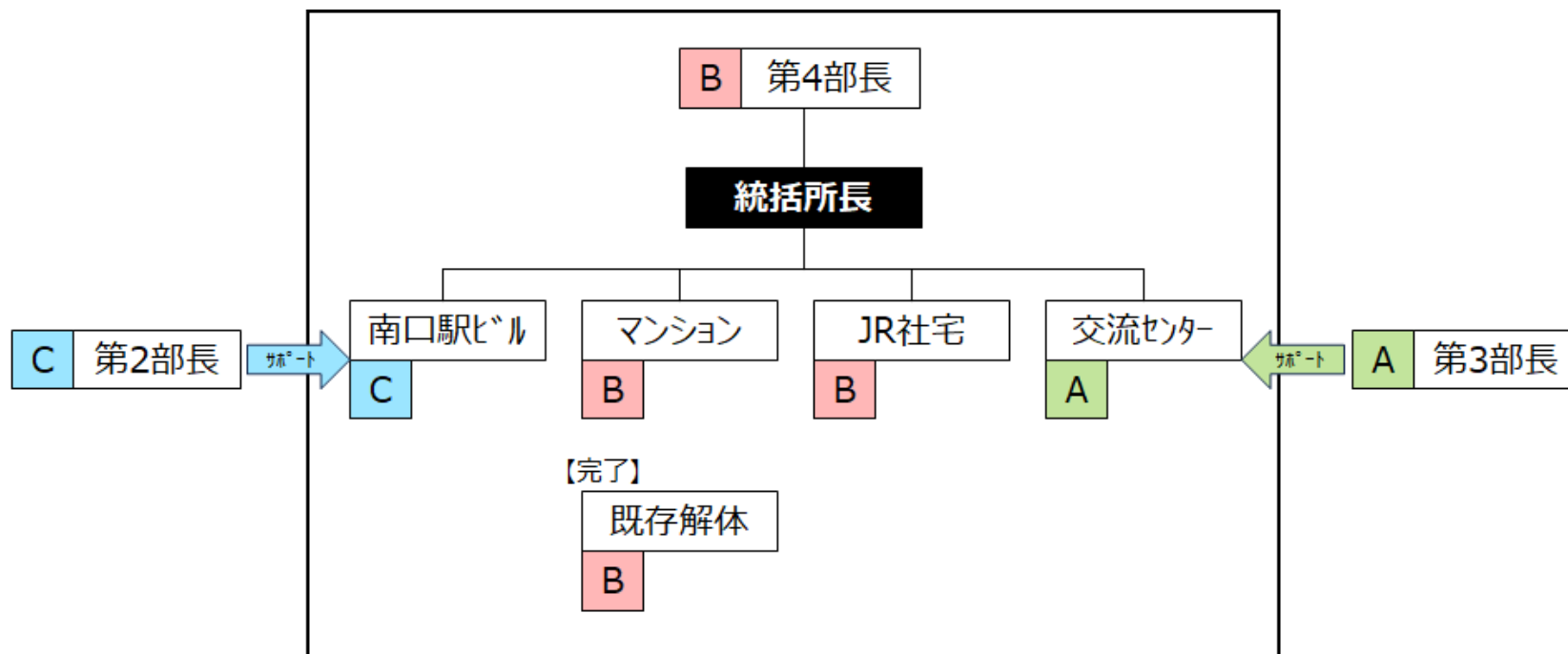


建築支店2025.4.1 組織改正

2024年度まで	2025年度	改正の狙い
建築工事統括部 施工規則に係る管理 人財育成 業法に係る管理 作業所労働環境改善 (ICT等) 生産技術部 品質・環境管理 技術資料の蓄積 竣工書類の管理 外注考課 生産設計室 アフターサポート室 作業所支援室	生産支援部 生産支援G 基 生産設計・BIM G 基 生産環境整備G 基 人財育成G 基 生産システム管理G 基 品質環境部 品質環境管理G 基 アフターサポート室	・建築工事統括部と生産技術部にまたがっていた作業所支援を生産支援部にまとめ、<u>一貫性ある効果的な支援</u>を実施 ・<u>各グループに担当次長（担当課長）を配置</u>して、役割と責任を明確化 ・<u>生産設計と連動</u>させて現場BIM支援を強化 ・<u>ICT導入の加速</u> ・<u>人財育成の強化</u>（資格、研修、面談、派遣社員 etc.） ・<u>技術ストックの一元化</u> ・<u>支援と技術ストックの連動</u> ・品質環境Gに担当次長を配置して大鉄品質の維持・向上に専念 凡例 基：基幹支店として建築他支店を支援

支店長方針	具体的方策・手段	記事&特に注力する事項
基幹支店として量と質の両面で受注内容の向上に取り組む	計画段階からの連携	【生産支援部】 受注予定案件の総合仮設計画・施工計画等への参画
顧客ニーズに応え受注件名を着実に推進することで、顧客の信頼を獲得	工程確認、現況確認会による工事推進	
	適財適所で施工体制を整備 お褒めの言葉共有	西明石PJ施工体制（官庁・民間・鉄道工事連携）
協力会社との連携強化	協力会社との定期的な情報交換	下期オーナー研修で意見交換会開催
	協力会社への発注バランスを確認	
	大友会との連携強化・組織拡大支援	

西明石PJ施工体制



西明石計画（分譲・西敷地）



西明石駅南改札口ビル

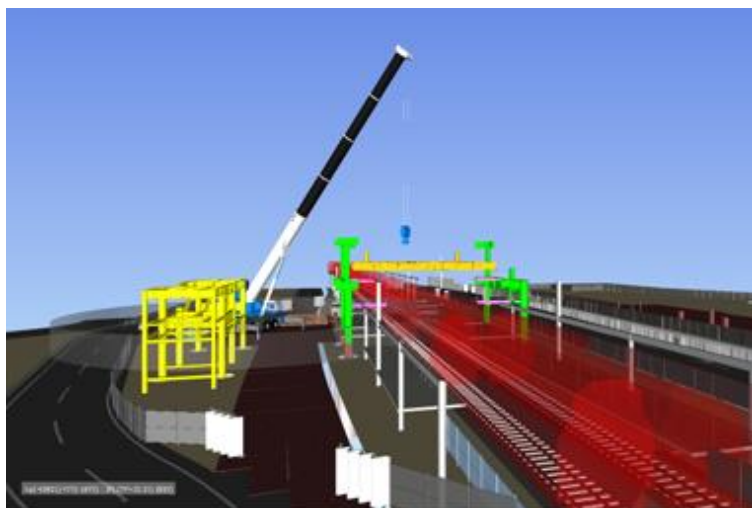
支店長方針	具体的方策・手段	記事＆特に注力する事項
高難度の工事を中心として、本部・支店が一体となって技術支援を行い、実施工で得られた技術・品質管理の知見を蓄積することで、施工管理力を向上させ受注拡大につなげる	大鉄品質の維持・向上を目指す組織の 運営	品質環境部（品質環境管理G） の立ち上げ
	アフターサポート室による顧客対応強化	
	杭・鉄骨施工精度管理システムの 積極使用	
	設計図検討会議の充実 （メンバー多角化）	
	設計図チェックシート・不具合事例集の 水平展開	
	VE・CD実例データの更なる蓄積	生産支援部（生産システム管理G） で一元管理
	特殊工法、魅力ある件名等の 見学会実施	
	アフター件名データを設計チェックシートに 反映	

杭・鉄骨施工精度管理

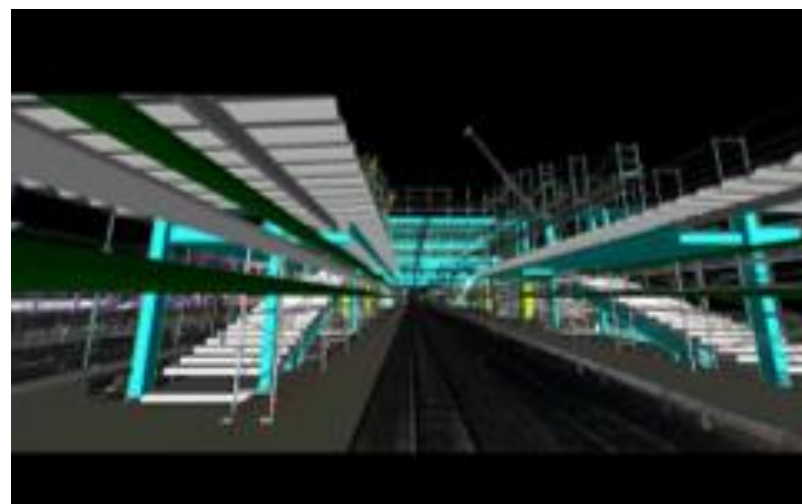


支店長方針	具体的方策・手段	記事&特に注力する事項
若手社員がBIM知識、操作力を身に着け現場で使用を拡大	BIMデータの現場業務使用範囲拡大	生産支援部（生産設計・BIMG）の 施工図担当 と BIM担当 が 連携 して作業所支援 足場計画・数量算出による現場支援
	若手を中心にBIM研修の受講を奨励	

BIMデータ現場使用範囲拡大



英賀駅 施工BIM



英賀駅 列車からの見通し動画

支店長方針		具体的方策・手段	記事&特に注力する事項
【生産性向上】	施工管理を支援するICTツールの導入を加速させて業務の効率化を進め、社員がもっと働きやすい職場環境に変えていく	導入したICTソフトのメリット享受を加速	
		更なるICTソフトの導入推奨	
	現場での4週8休、残業削減に取り組む	4週8 閉所のマスター工程による交渉・調整	
		所内会議の充実 コミュニケーション強化	
	時間外労働の上限規制を 今年も 確実にクリアする	生産支援部 による現場支援	
		派遣社員の組織的確保・運用	優秀な若手派遣社員の連続運用

安全推進部より

年度経営計画 説明用資料

安全

令和7年度

令和7年度 建築支店 年度経営計画

【安全】

【支店長方針】

これまでの安全の取組み(法令順守、施工検討会など)を継続・充実させることにより安全PDCAの充実を図る

【行動目標】

- 若手社員の『自主パトロール』を継続
- ヒヤリハットの収集と水平展開
- 法令問題
- 施工検討会で『要点確認リスト』による議論
- 推奨パトロール
- ★ 重点管理パトロールの実施
- 墜落防止の取組を徹底する

元請と協力会社が連携して、現場の安全意識向上につながる各種取組をひとつひとつ丁寧に進め、一体感のある現場とすることで重大災害を防止する

- 職長ヘルメットの導入
- 現場全員が名前呼び合う風土づくり
- 毎月初めを『安全推進の日』、各作業所で作業員を表彰
- 全国安全週間、全国労働衛生週間に曜日毎の行事を設定
- 現場施工サイクルの標準化(休憩・体操)
- VRによる疑似体験(作業員)
- 新KYT用紙の進化(デジタル化・他帳票との連携)
- 請負者『自主パトロール』
- ★ 重機作業時の作業員との接触防止

【凡例】

- ★: <新規取組>
- : <継続レベルアップする取組>
- : <継続定着させる取組>

分類



①継続レベルアップする取組

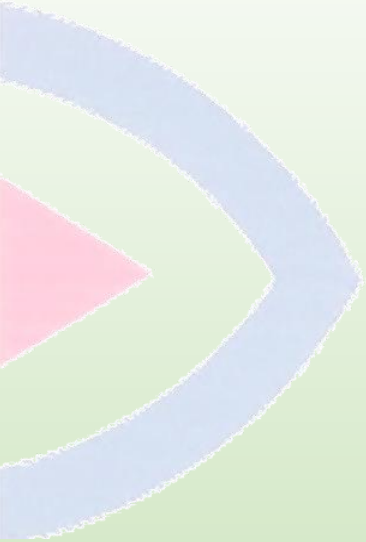


②継続定着させる取組



③新規取組

④その他



分類

①継続レベルアップする取組

- 1.若手社員による自主パトロール
- 2.職長ヘルメットの導入
- 3.VRによる疑似体験
- 4.新KYT用紙の進化
(デジタル化・他帳票との連携)

②継続定着させる取組

③新規取組

④その他

2.職長さんに専用のヘルメットを導入（継続）

実施現場

1. 西喜連住宅（大規模現場）
2. 和泉警察（中規模現場）
3. 竜野駅（JR現場）



JR工事では赤色ヘルメットがNGの為、**黄緑色**で取り組んでいます。



- ・ 職長さんの明確化と誇り・やりがいを喚起
- ・ **職長パトロールの実施(1回/月)**
- ・ 注意しあう風土、作業員さんの安全意識向上
- ・ 職長さん同士の下打合せや事務作業ができる職長専用の部屋またはブースの設置

等 職長さんの差別化を図ります。

①継続レベルアップする取組（①ー2）

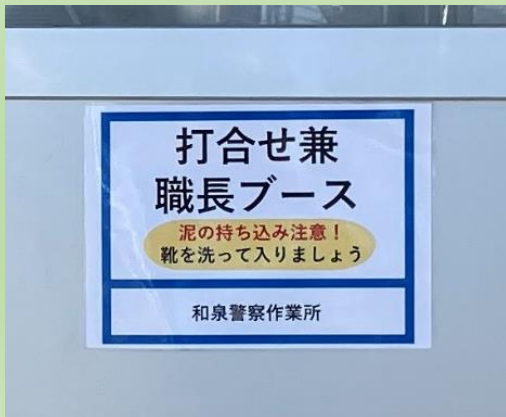
職長さんの明確化（2024年度取組状況）

職長さん専用のヘルメット掛け、置き場



職長さん専用のブース・部屋の設置

打合せ状況



①継続レベルアップする取組（①ー2）

職長パトロールの実施

和泉警察で実施中



職長パトロールの実施(1回/月)
安全推進部担当者も立会います

職長さんと歩いていると色々な発見があります。
良いこともダメなことも、タイムリーな意見が聞けます。

職長会の発足(職長ヘルメット使用現場)

設置目的 ☆声掛け合える作業環境の保持（安全作業の推進等）
☆現場生活環境の保持（共有施設の整備等）
☆近隣環境の保持（作業員通勤車両管理及び前面道路管理等）

1.職長会 会議

1 回/月の会議を実施

2.職長会パトロール

1 回/週のパトロールを実施

翌日の朝礼等で周知・水平展開、職長パトの改善状況

3.行事の設定

安全推進の日の進行→大鉄にて行う

（いずれは朝礼含めて職長会でしたい）

表彰者の決定

4.週間行事の設定

安全当番決定と実施状況の確認

一斉清掃（場外清掃含む）

喫煙所、詰所、ひとつかみバケツの清掃

トイレの清掃（月～木曜） 金曜はJV が当番

現在は和泉警察
作業所で進行中

①継続レベルアップする取組 (①ー3)

3.作業所でVRによる疑似体験 (作業員)



VRを活用した
次世代安全教育ソリューション



PC、モニター等への出力も可能! (別途機材が必要)



VR体験イメージ

タイプ1 クレーンセーフティトレーニング



クレーンの危険体感(地盤不良)



クレーンの危険体感(過荷重)



クレーンの危険体感(玉掛け不良)



トラッククレーンの危険体感



高所作業車の危険体感

対象者：作業所の作業員がメイン
体験内容：各作業所が行っている工事に類似したシナリオを体験

例えば、外部足場上での作業があるなら「足場危険体験」、掘削重機での作業があるなら「重機災害体験」とします。

1日の実施人数は作業所の規模や工事内容にもよりますが、6～10人程度とします。

時間は2時間程度、作業員さんの休憩時等に合わせて体験してもらいます。後日、希望日を募りますので、ぜひ体験してみてください。

①継続レベルアップする取組（①ー3）

3.作業所でVRによる疑似体験（作業員）

建築関連8種、軌道関連9種のシナリオを準備しています。



※2024年度は大鉄工業社員190名に体験してもらいました。
※今年度は作業所に出向いて作業員さんに体験してもらいます。



①継続レベルアップする取組（①ー3）

2024年度の研修センターでのVR体験



一部現場開催
(英賀保駅等)



3.新KYT用紙の進化（デジタル化・他帳票との連携）



現在も継続して試行します。引続き、iPadの貸出し等、職長さんの意見を聞きながら、他帳票類との連携を検討していきます。

複数現場において「eYACHO」で安全衛生日誌の作成もしています。

[illegible]

分類

①継続レベルアップする取組

②継続定着させる取組

- 1.ヒヤリハットの収集と水平展開
- 2.法令問題
- 3.施工検討会で『要点確認リスト』による議論
- 4.推奨パトロール
- 5.墜落防止の取組を徹底する
- 6.現場全員が名前呼び合う風土づくり
- 7.安全推進の日に各作業所で作業員を表彰
- 8.全国安全週間、労働衛生週間に曜日毎の行事を設定
- 9.現場施工サイクルの標準化（休憩・体操）
- 10.請負者『自主パトロール』

③新規取組

②継続定着させる取組（②－１）

1.ヒヤリハットの収集と水平展開

毎月の安全衛生協議会前後に協力会社さんにしてもらっているパトロールでのちょっとした「ヒヤリハット」を教えてください。

事故の型の分類を行い、水平展開を行っていきます。

[illegible]

様式は問いません

[illegible]

現場パトロール点検表

安協時安パト内容発表状況

②継続定着させる取組（②－１）

1.ヒヤリハットの収集と水平展開

2024年度、各現場の安衛協の時に提供してもらった協力会社さんの現場パトをヒヤリハットとして集計しました。
（45作業所、ヒヤリハット658件）

ヒヤリハットのトップ3「事故の型の分類」

1位 転倒 2位 飛来、落下 3位 切れ、こすれ

2024年度の3日以内の労災件数は10件でした。上期だけで8件もの労災がありましたが、この取り組みの成果もプラスされ下期は2件に留まりました。

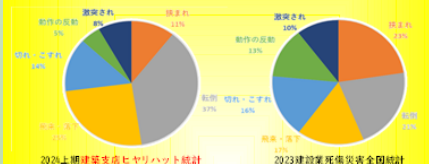
今年度も引続き

労働災害減少のために「事故の型」に合わせた目標を立てて安全管理します！！

2024年上期において、ヒヤリハットを各現場から吸い上げました。（25作業所、234件数）

ヒヤリハットのトップ3

1位 転倒 2位 飛来、落下 3位 切れ、こすれ



※上記の円グラフより、2つの統計は類似していることが分かります。

休業3日以内の労働災害減少のために「事故の型」に合わせた目標を立てて安全管理します！！

①転倒防止	現場内の段差をなくす 足場から降りる時は後ろ向き 片手で梯子移動の禁止 等	自現場ではこうする
②飛来落下防止	不安定な状態をなくす 作業中・最終確認の徹底 ネット養生の徹底 等	自現場ではこうする
③切れこすれ防止	安全通路をしっかりと確保 必要な程度の確保 安全方ハローの設置 等	自現場ではこうする

※上の□内に目標を記入し事務所等に提出願います
※作業内容に見合った目標とさせていただきます

②継続定着させる取組（②－１）

1.ヒヤリハットの収集と水平展開

このようなポスターを現場詰所等の作業員さんのよく見える場所に貼っています。

下部の青色点線枠内にその現場に合わせた重点管理する目標を記入しています。大鉄社員はこの目標を意識して安全管理をします。

「これだけは守ろう！」という目標です。なので、現場でできていなかったり、もうちょっと足りてない等のご意見がある方は、遠慮なく大鉄社員に申し出てください。

目標(記載内容)は難しくありません。例えば

- ・現場の段差をなくす
- ・安全通路には絶対に物を置かない
- ・突起部分はカバーする

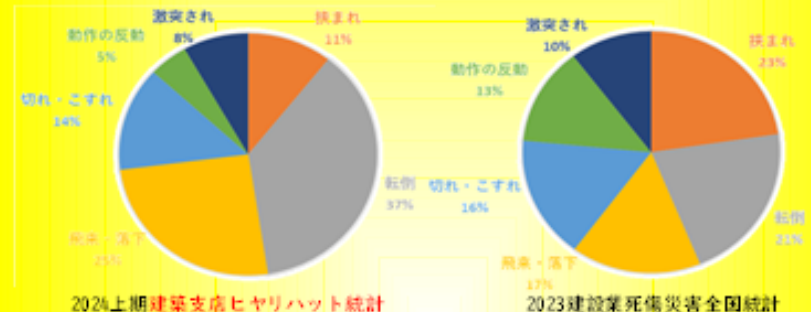
等です。

2024年上期において、ヒヤリハットを各現場から吸い上げました。（25作業所、234件数）

ヒヤリハットのトップ3

1位 転倒 2位 飛来、落下

3位 切れ、こすれ



2024上期建築支店ヒヤリハット統計

2023建設業死傷災害全国統計

※上記の円グラフより、2つの統計は類似していることが分かります。

休業3日以内の労働災害減少のために「事故の型」に合わせた目標を立てて安全管理します！！

①転倒防止

現場内の段差をなくす
立馬から降りる時は後ろ両
片手で様子使用の禁止 等

自現場ではこうする

②飛来落下防止

不安定な状態をなくす
作業中・最終確認の徹底
ネット養生の徹底 等

自現場ではこうする

③切れこすれ防止

安全通路をしっかりと整備
必要な程度の確保
安全カバーの設置 等

自現場ではこうする

※上の口内に目標を記入し事務所等に掲示願います

※作業内容に見合った目標としてください

②継続定着させる取組（②－2）

2. 『法令問題』を継続（法令知識の向上）

I. 法令知識向上の取組

法令テストです

（2025年度）

法令問題は大鉄社員

又店長・所長・所員

今月は「火気・危険物」についての問題としました。

ダイジェスト等 法令に照らし合わせ、問題にお答えください。

毎月1回、同種事故防止のためにも、直近で起こった事故・事象、安パト指摘に関連した内容を出題します。

②継続定着させる取組 (②-2)

法令知識の向上

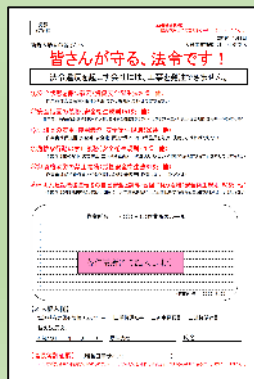
※毎月の法令テスト (年12回) 支店⇒所長⇒所員

書式 ㏐㏑㏒㏓㏔㏕㏖㏗㏘㏙㏚㏛㏜㏝㏞㏟㏠㏡㏢㏣㏤㏦㏧㏨㏩㏪㏫㏬㏭㏮㏯㏰㏱㏲㏳㏴㏵㏶㏷㏸㏹㏺㏻㏼㏽㏾㏿㐀㐁㐂㐃㐄㐅㐆㐇㐈㐉㐊㐋㐌㐍㐎㐏㐐㐑㐒㐓㐔㐕㐖㐗㐘㐙㐚㐛㐜㐝㐞㐟㐠㐡㐢㐣㐤㐥㐦㐧㐨㐩㐪㐫㐬㐭㐮㐯㐰㐱㐲㐳㐴㐵㐶㐷㐸㐹㐺㐻㐼㐽㐾㐿㑀㑁㑂㑃㑄㑅㑆㑇㑈㑉㑊㑋㑌㑍㑎㑏㑐㑑㑒㑓㑔㑕㑖㑗㑘㑙㑚㑛㑜㑝㑞㑟㑠㑡㑢㑣㑤㑥㑦㑧㑨㑩㑪㑫㑬㑭㑮㑯㑰㑱㑲㑳㑴㑵㑶㑷㑸㑹㑺㑻㑼㑽㑾㑿㒀㒁㒂㒃㒄㒅㒆㒇㒈㒉㒊㒋㒌㒍㒎㒏㒐㒑㒒㒓㒔㒕㒖㒗㒘㒙㒚㒛㒜㒝㒞㒟㒠㒡㒢㒣㒤㒥㒦㒧㒨㒩㒪㒫㒬㒭㒮㒯㒰㒱㒲㒳㒴㒵㒶㒷㒸㒹㒺㒻㒼㒽㒾㒿㓀㓁㓂㓃㓄㓅㓆㓇㓈㓉㓊㓋㓌㓍㓎㓏㓐㓑㓒㓓㓔㓕㓖㓗㓘㓙㓚㓛㓜㓝㓞㓟㓠㓡㓢㓣㓤㓥㓦㓧㓨㓩㓪㓫㓬㓭㓮㓯㓰㓱㓲㓳㓴㓵㓶㓷㓸㓹㓺㓻㓼㓽㓾㓿㔀㔁㔂㔃㔄㔅㔆㔇㔈㔉㔊㔋㔌㔍㔎㔏㔐㔑㔒㔓㔔㔕㔖㔗㔘㔙㔚㔛㔜㔝㔞㔟㔠㔡㔢㔣㔤㔥㔦㔧㔨㔩㔪㔫㔬㔭㔮㔯㔰㔱㔲㔳㔴㔵㔶㔷㔸㔹㔺㔻㔼㔽㔾㔿㕀㕁㕂㕃㕄㕅㕆㕇㕈㕉㕊㕋㕌㕍㕎㕏㕐㕑㕒㕓㕔㕕㕖㕗㕘㕙㕚㕛㕜㕝㕞㕟㕠㕡㕢㕣㕤㕥㕦㕧㕨㕩㕪㕫㕬㕭㕮㕯㕰㕱㕲㕳㕴㕵㕶㕷㕸㕹㕺㕻㕼㕽㕾㕿㖀㖁㖂㖃㖄㖅㖆㖇㖈㖉㖊㖋㖌㖍㖎㖏㖐㖑㖒㖓㖔㖕㖖㖗㖘㖙㖚㖛㖜㖝㖞㖟㖠㖡㖢㖣㖤㖥㖦㖧㖨㖩㖪㖫㖬㖭㖮㖯㖰㖱㖲㖳㖴㖵㖶㖷㖸㖹㖺㖻㖼㖽㖾㖿㗀㗁㗂㗃㗄㗅㗆㗇㗈㗉㗊㗋㗌㗍㗎㗏㗐㗑㗒㗓㗔㗕㗖㗗㗘㗙㗚㗛㗜㗝㗞㗟㗠㗡㗢㗣㗤㗥㗦㗧㗨㗩㗪㗫㗬㗭㗮㗯㗰㗱㗲㗳㗴㗵㗶㗷㗸㗹㗺㗻㗼㗽㗾㗿㘀㘁㘂㘃㘄㘅㘆㘇㘈㘉㘊㘋㘌㘍㘎㘏㘐㘑㘒㘓㘔㘕㘖㘗㘘㘙㘚㘛㘜㘝㘞㘟㘠㘡㘢㘣㘤㘥㘦㘧㘨㘩㘪㘫㘬㘭㘮㘯㘰㘱㘲㘳㘴㘵㘶㘷㘸㘹㘺㘻㘼㘽㘾㘿㙀㙁㙂㙃㙄㙅㙆㙇㙈㙉㙊㙋㙌㙍㙎㙏㙐㙑㙒㙓㙔㙕㙖㙗㙘㙙㙚㙛㙜㙝㙞㙟㙠㙡㙢㙣㙤㙥㙦㙧㙨㙩㙪㙫㙬㙭㙮㙯㙰㙱㙲㙳㙴㙵㙶㙷㙸㙹㙺㙻㙼㙽㙾㙿㚀㚁㚂㚃㚄㚅㚆㚇㚈㚉㚊㚋㚌㚍㚎㚏㚐㚑㚒㚓㚔㚕㚖㚗㚘㚙㚚㚛㚜㚝㚞㚟㚠㚡㚢㚣㚤㚥㚦㚧㚨㚩㚪㚫㚬㚭㚮㚯㚰㚱㚲㚳㚴㚵㚶㚷㚸㚹㚺㚻㚼㚽㚾㚿㜀㜁㜂㜃㜄㜅㜆㜇㜈㜉㜊㜋㜌㜍㜎㜏㜐㜑㜒㜓㜔㜕㜖㜗㜘㜙㜚㜛㜜㜝㜞㜟㜠㜡㜢㜣㜤㜥㜦㜧㜨㜩㜪㜫㜬㜭㜮㜯㜰㜱㜲㜳㜴㜵㜶㜷㜸㜹㜺㜻㜼㜽㜾㜿㝀㝁㝂㝃㝄㝅㝆㝇㝈㝉㝊㝋㝌㝍㝎㝏㝐㝑㝒㝓㝔㝕㝖㝗㝘㝙㝚㝛㝜㝝㝞㝟㝠㝡㝢㝣㝤㝥㝦㝧㝨㝩㝪㝫㝬㝭㝮㝯㝰㝱㝲㝳㝴㝵㝶㝷㝸㝹㝺㝻㝼㝽㝾㝿㞀㞁㞂㞃㞄㞅㞆㞇㞈㞉㞊㞋㞌㞍㞎㞏㞐㞑㞒㞓㞔㞕㞖㞗㞘㞙㞚㞛㞜㞝㞞㞟㞠㞡㞢㞣㞤㞥㞦㞧㞨㞩㞪㞫㞬㞭㞮㞯㞰㞱㞲㞳㞴㞵㞶㞷㞸㞹㞺㞻㞼㞽㞾㞿㟀㟁㟂㟃㟄㟅㟆㟇㟈㟉㟊㟋㟌㟍㟎㟏㟐㟑㟒㟓㟔㟕㟖㟗㟘㟙㟚㟛㟜㟝㟞㟟㟠㟡㟢㟣㟤㟥㟦㟧㟨㟩㟪㟫㟬㟭㟮㟯㟰㟱㟲㟳㟴㟵㟶㟷㟸㟹㟺㟻㟼㟽㟾㟿㠀㠁㠂㠃㠄㠅㠆㠇㠈㠉㠊㠋㠌㠍㠎㠏㠐㠑㠒㠓㠔㠕㠖㠗㠘㠙㠚㠛㠜㠝㠞㠟㠠㠡㠢㠣㠤㠥㠦㠧㠨㠩㠪㠫㠬㠭㠮㠯㠰㠱㠲㠳㠴㠵㠶㠷㠸㠹㠺㠻㠼㠽㠾㠿㡀㡁㡂㡃㡄㡅㡆㡇㡈㡉㡊㡋㡌㡍㡎㡏㡐㡑㡒㡓㡔㡕㡖㡗㡘㡙㡚㡛㡜㡝㡞㡟㡠㡡㡢㡣㡤㡥㡦㡧㡨㡩㡪㡫㡬㡭㡮㡯㡰㡱㡲㡳㡴㡵㡶㡷㡸㡹㡺㡻㡼㡽㡾㡿㢀㢁㢂㢃㢄㢅㢆㢇㢈㢉㢊㢋㢌㢍㢎㢏㢐㢑㢒㢓㢔㢕㢖㢗㢘㢙㢚㢛㢜㢝㢞㢟㢠㢡㢢㢣㢤㢥㢦㢧㢨㢩㢪㢫㢬㢭㢮㢯㢰㢱㢲㢳㢴㢵㢶㢷㢸㢹㢺㢻㢼㢽㢾㢿㣀㣁㣂㣃㣄㣅㣆㣇㣈㣉㣊㣋㣌㣍㣎㣏㣐㣑㣒㣓㣔㣕㣖㣗㣘㣙㣚㣛㣜㣝㣞㣟㣠㣡㣢㣣㣤㣥㣦㣧㣨㣩㣪㣫㣬㣭㣮㣯㣰㣱㣲㣳㣴㣵㣶㣷㣸㣹㣺㣻㣼㣽㣾㣿㤀㤁㤂㤃㤄㤅㤆㤇㤈㤉㤊㤋㤌㤍㤎㤏㤐㤑㤒㤓㤔㤕㤖㤗㤘㤙㤚㤛㤜㤝㤞㤟㤠㤡㤢㤣㤤㤥㤦㤧㤨㤩㤪㤫㤬㤭㤮㤯㤰㤱㤲㤳㤴㤵㤶㤷㤸㤹㤺㤻㤼㤽㤾㤿㥀㥁㥂㥃㥄㥅㥆㥇㥈㥉㥊㥋㥌㥍㥎㥏㥐㥑㥒㥓㥔㥕㥖㥗㥘㥙㥚㥛㥜㥝㥞㥟㥠㥡㥢㥣㥤㥥㥦㥧㥨㥩㥪㥫㥬㥭㥮㥯㥰㥱㥲㥳㥴㥵㥶㥷㥸㥹㥺㥻㥼㥽㥾㥿㦀㦁㦂㦃㦄㦅㦆㦇㦈㦉㦊㦋㦌㦍㦎㦏㦐㦑㦒㦓㦔㦕㦖㦗㦘㦙㦚㦛㦜㦝㦞㦟㦠㦡㦢㦣㦤㦥㦦㦧㦨㦩㦪㦫㦬㦭㦮㦯㦰㦱㦲㦳㦴㦵㦶㦷㦸㦹㦺㦻㦼㦽㦾㦿㧀㧁㧂㧃㧄㧅㧆㧇㧈㧉㧊㧋㧌㧍㧎㧏㧐㧑㧒㧓㧔㧕㧖㧗㧘㧙㧚㧛㧜㧝㧞㧟㧠㧡㧢㧣㧤㧥㧦㧧㧨㧩㧪㧫㧬㧭㧮㧯㧰㧱㧲㧳㧴㧵㧶㧷㧸㧹㧺㧻㧼㧽㧾㧿㨀㨁㨂㨃㨄㨅㨆㨇㨈㨉㨊㨋㨌㨍㨎㨏㨐㨑㨒㨓㨔㨕㨖㨗㨘㨙㨚㨛㨜㨝㨞㨟㨠㨡㨢㨣㨤㨥㨦㨧㨨㨩㨪㨫㨬㨭㨮㨯㨰㨱㨲㨳㨴㨵㨶㨷㨸㨹㨺㨻㨼㨽㨾㨿㩀㩁㩂㩃㩄㩅㩆㩇㩈㩉㩊㩋㩌㩍㩎㩏㩐㩑㩒㩓㩔㩕㩖㩗㩘㩙㩚㩛㩜㩝㩞㩟㩠㩡㩢㩣㩤㩥㩦㩧㩨㩩㩪㩫㩬㩭㩮㩯㩰㩱㩲㩳㩴㩵㩶㩷㩸㩹㩺㩻㩼㩽㩾㩿㪀㪁㪂㪃㪄㪅㪆㪇㪈㪉㪊㪋㪌㪍㪎㪏㪐㪑㪒㪓㪔㪕㪖㪗㪘㪙㪚㪛㪜㪝㪞㪟㪠㪡㪢㪣㪤㪥㪦㪧㪨㪩㪪㪫㪬㪭㪮㪯㪰㪱㪲㪳㪴㪵㪶㪷㪸㪹㪺㪻㪼㪽㪾㪿㫀㫁㫂㫃㫄㫅㫆㫇㫈㫉㫊㫋㫌㫍㫎㫏㫐㫑㫒㫓㫔㫕㫖㫗㫘㫙㫚㫛㫜㫝㫞㫟㫠㫡㫢㫣㫤㫥㫦㫧㫨㫩㫪㫫㫬㫭㫮㫯㫰㫱㫲㫳㫴㫵㫶㫷㫸㫹㫺㫻㫼㫽㫾㫿㬀㬁㬂㬃㬄㬅㬆㬇㬈㬉㬊㬋㬌㬍㬎㬏㬐㬑㬒㬓㬔㬕㬖㬗㬘㬙㬚㬛㬜㬝㬞㬟㬠㬡㬢㬣㬤㬥㬦㬧㬨㬩㬪㬫㬬㬭㬮㬯㬰㬱㬲㬳㬴㬵㬶㬷㬸㬹㬺㬻㬼㬽㬾㬿㭀㭁㭂㭃㭄㭅㭆㭇㭈㭉㭊㭋㭌㭍㭎㭏㭐㭑㭒㭓㭔㭕㭖㭗㭘㭙㭚㭛㭜㭝㭞㭟㭠㭡㭢㭣㭤㭥㭦㭧㭨㭩㭪㭫㭬㭭㭮㭯㭰㭱㭲㭳㭴㭵㭶㭷㭸㭹㭺㭻㭼㭽㭾㭿㮀㮁㮂㮃㮄㮅㮆㮇㮈㮉㮊㮋㮌㮍㮎㮏㮐㮑㮒㮓㮔㮕㮖㮗㮘㮙㮚㮛㮜㮝㮞㮟㮠㮡㮢㮣㮤㮥㮦㮧㮨㮩㮪㮫㮬㮭㮮㮯㮰㮱㮲㮳㮴㮵㮶㮷㮸㮹㮺㮻㮼㮽㮾㮿㯀㯁㯂㯃㯄㯅㯆㯇㯈㯉㯊㯋㯌㯍㯎㯏㯐㯑㯒㯓㯔㯕㯖㯗㯘㯙㯚㯛㯜㯝㯞㯟㯠㯡㯢㯣㯤㯥㯦㯧㯨㯩㯪㯫㯬㯭㯮㯯㯰㯱㯲㯳㯴㯵㯶㯷㯸㯹㯺㯻㯼㯽㯾㯿㰀㰁㰂㰃㰄㰅㰆㰇㰈㰉㰊㰋㰌㰍㰎㰏㰐㰑㰒㰓㰔㰕㰖㰗㰘㰙㰚㰛㰜㰝㰞㰟㰠㰡㰢㰣㰤㰥㰦㰧㰨㰩㰪㰫㰬㰭㰮㰯㰰㰱㰲㰳㰴㰵㰶㰷㰸㰹㰺㰻㰼㰽㰾㰿㱀㱁㱂㱃㱄㱅㱆㱇㱈㱉㱊㱋㱌㱍㱎㱏㱐㱑㱒㱓㱔㱕㱖㱗㱘㱙㱚㱛㱜㱝㱞㱟㱠㱡㱢㱣㱤㱥㱦㱧㱨㱩㱪㱫㱬㱭㱮㱯㱰㱱㱲㱳㱴㱵㱶㱷㱸㱹㱺㱻㱼㱽㱾㱿㲀㲁㲂㲃㲄㲅㲆㲇㲈㲉㲊㲋㲌㲍㲎㲏㲐㲑㲒㲓㲔㲕㲖㲗㲘㲙㲚㲛㲜㲝㲞㲟㲠㲡㲢㲣㲤㲥㲦㲧㲨㲩㲪㲫㲬㲭㲮㲯㲰㲱㲲㲳㲴㲵㲶㲷㲸㲹㲺㲻㲼㲽㲾㲿㳀㳁㳂㳃㳄㳅㳆㳇㳈㳉㳊㳋㳌㳍㳎㳏㳐㳑㳒㳓㳔㳕㳖㳗㳘㳙㳚㳛㳜㳝㳞㳟㳠㳡㳢㳣㳤㳥㳦㳧㳨㳩㳪㳫㳬㳭㳮㳯㳰㳱㳲㳳㳴㳵㳶㳷㳸㳹㳺㳻㳼㳽㳾㳿㴀㴁㴂㴃㴄㴅㴆㴇㴈㴉㴊㴋㴌㴍㴎㴏㴐㴑㴒㴓㴔㴕㴖㴗㴘㴙㴚㴛㴜㴝㴞㴟㴠㴡㴢㴣㴤㴥㴦㴧㴨㴩㴪㴫㴬㴭㴮㴯㴰㴱㴲㴳㴴㴵㴶㴷㴸㴹㴺㴻㴼㴽㴾㴿㵀㵁㵂㵃㵄㵅㵆㵇㵈㵉㵊㵋㵌㵍㵎㵏㵐㵑㵒㵓㵔㵕㵖㵗㵘㵙㵚㵛㵜㵝㵞㵟㵠㵡㵢㵣㵤㵥㵦㵧㵨㵩㵪㵫㵬㵭㵮㵯㵰㵱㵲㵳㵴㵵㵶㵷㵸㵹㵺㵻㵼㵽㵾㵿㶀㶁㶂㶃㶄㶅㶆㶇㶈㶉㶊㶋㶌㶍㶎㶏㶐㶑㶒㶓㶔㶕㶖㶗㶘㶙㶚㶛㶜㶝㶞㶟㶠㶡㶢㶣㶤㶥㶦㶧㶨㶩㶪㶫㶬㶭㶮㶯㶰㶱㶲㶳㶴㶵㶶㶷㶸㶹㶺㶻㶼㶽㶾㶿㷀㷁㷂㷃㷄㷅㷆㷇㷈㷉㷊㷋㷌㷍㷎㷏㷐㷑㷒㷓㷔㷕㷖㷗㷘㷙㷚㷛㷜㷝㷞㷟㷠㷡㷢㷣㷤㷥㷦㷧㷨㷩㷪㷫㷬㷭㷮㷯㷰㷱㷲㷳㷴㷵㷶㷷㷸㷹㷺㷻㷼㷽㷾㷿㸀㸁㸂㸃㸄㸅㸆㸇㸈㸉㸊㸋㸌㸍㸎㸏㸐㸑㸒㸓㸔㸕㸖㸗㸘㸙㸚㸛㸜㸝㸞㸟㸠㸡㸢㸣㸤㸥㸦㸧㸨㸩㸪㸫㸬㸭㸮㸯㸰㸱㸲㸳㸴㸵㸶㸷㸸㸹㸺㸻㸼㸽㸾㸿㹀㹁㹂㹃㹄㹅㹆㹇㹈㹉㹊㹋㹌㹍㹎㹏㹐㹑㹒㹓㹔㹕㹖㹗㹘㹙㹚㹛㹜㹝㹞㹟㹠㹡㹢㹣㹤㹥㹦㹧㹨㹩㹪㹫㹬㹭㹮㹯㹰㹱㹲㹳㹴㹵㹶㹷㹸㹹㹺㹻㹼㹽㹾㹿㺀㺁㺂㺃㺄㺅㺆㺇㺈㺉㺊㺋㺌㺍㺎㺏㺐㺑㺒㺓㺔㺕㺖㺗㺘㺙㺚㺛㺜㺝㺞㺟㺠㺡㺢㺣㺤㺥㺦㺧㺨㺩㺪㺫㺬㺭㺮㺯㺰㺱㺲㺳㺴㺵㺶㺷㺸㺹㺺㺻㺼㺽㺾㺿㻀㻁㻂㻃㻄㻅㻆㻇㻈㻉㻊㻋㻌㻍㻎㻏㻐㻑㻒㻓㻔㻕㻖㻗㻘㻙㻚㻛㻜㻝㻞㻟㻠㻡㻢㻣㻤㻥㻦㻧㻨㻩㻪㻫㻬㻭㻮㻯㻰㻱㻲㻳㻴㻵㻶㻷㻸㻹㻺㻻㻼㻽㻾㻿㼀㼁㼂㼃㼄㼅㼆㼇㼈㼉㼊㼋㼌㼍㼎㼏㼐㼑㼒㼓㼔㼕㼖㼗㼘㼙㼚㼛㼜㼝㼞㼟㼠㼡㼢㼣㼤㼥㼦㼧㼨㼩㼪㼫㼬㼭㼮㼯㼰㼱㼲㼳㼴㼵㼶㼷㼸㼹㼺㼻㼼㼽㼾㼿㽀㽁㽂㽃㽄㽅㽆㽇㽈㽉㽊㽋㽌㽍㽎㽏㽐㽑㽒㽓㽔㽕㽖㽗㽘㽙㽚㽛㽜㽝㽞㽟㽠㽡㽢㽣㽤㽥㽦㽧㽨㽩㽪㽫㽬㽭㽮㽯㽰㽱㽲㽳㽴㽵㽶㽷㽸㽹㽺㽻㽼㽽㽾㽿㿀㿁㿂㿃㿄㿅㿆㿇㿈㿉㿊㿋㿌㿍㿎㿏㿐㿑㿒㿓㿔㿕㿖㿗㿘㿙㿚㿛㿜㿝㿞㿟㿠㿡㿢㿣㿤㿥㿦㿧㿨㿩㿪㿫㿬㿭㿮㿯㿰㿱㿲㿳㿴㿵㿶㿷㿸㿹㿺㿻㿼㿽㿾㿿

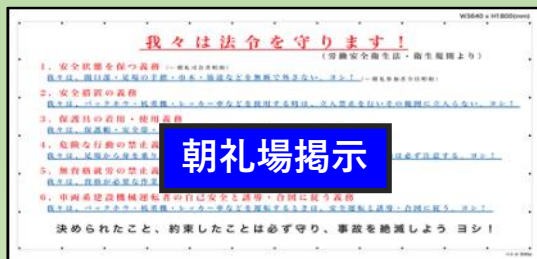
職長さん、作業員さんには新規入場時に「作業員6つの法令動画」と「怖さが身に染みる墜落動画」を見ていただいています。

二二 法令問題

※新規裏面誓約書



※作業員6つの法的義務
法令唱和



※新規入場時、
「作業員6つの法令動画」と
「怖さが身に染みる墜落動画」
(5分30秒の動画) を視聴

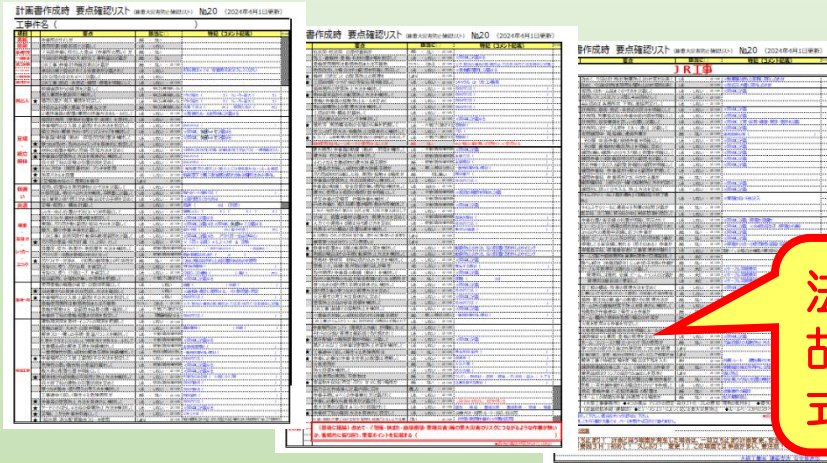


書式 公開F (116)

②継続定着させる取組（②－３）

3.施工検討会で『要点確認リスト』による議論を継続 実効性の高い施工計画書の作成

※要点確認リスト
現在はNo.21



法律が変わったり、事
故事象が起これば、様
式を追加変更します。

協力会社さんへ要点確認リストのチェック項目を含めた条件等をしっかり理解し、その現場に合った計画書・手順書の作成をお願いします。

皆さんが安全を意識して作成された施工計画書をもとに工事を進めます。
我々は施工計画が起因の事故事象がないことを目標としています。

②継続定着させる取組 (②-5)

5.墜落防止の取組を徹底する

2年連続で発生した『墜落事故』を繰り返さないために…

Ⅲ. 事故事例 紹介

建築支店

⑤スラブ型枠建込み時、
高さ2.9mの下階へ墜落

(要：周知)

Ⅲ. 事故事例 紹介

建築支店

事 象：スラブ型枠建込み時、高さ2.9mの下階へ墜落

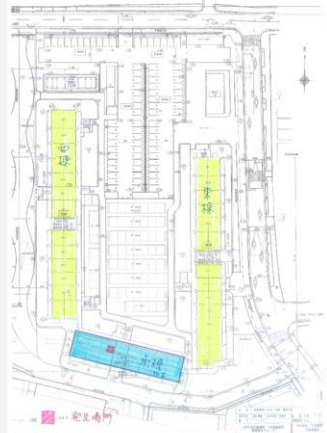
発生日時：令和 5年 11月 21日 (火)

場 所：東喜連作業所

状 況：10階スラブ型枠建込み時、資材を取りに行くために、小梁型枠上から足を伸ばして、開口部近くの部材（大引きを固定していた部材）に足を乗せた際に部材が破損しバランスを崩して墜落した。墜落時、頭部を下階のコンプレッサに激突、救急車にて搬送した。

被災程度：頭部打撲、挫創（頭頸部CTでは出血、骨折は認めず）**奇跡的に不欠**

Ⅲ. 事故事例 紹介



再掲写真

再掲写真

2023年11月21日（東喜連）

Ⅲ. 事故事例 紹介

建築支店

②鉄骨柱塗装中に足場から墜落

(要：周知)

うめきた地上駅作業所 鉄骨柱塗装中に足場から墜落 (2024年6月19日)



＜6/17＞
大鉄、雨の予報であったので、雨養生として仮設的にシートを設置（周知できていなかった。）

＜6/19当日＞
作業班：現場でシートが張られていることを知り、社員に相談せず作業方法を検討し、ESCからの4面作業とすることとした

＜6/19当日午後＞
作業班：第4層を完了し、第5層作業中に足場
※ESC上には手すり等が備わっているため、足場状態の確認中に墜落と推定

うめきた地上駅作業所 鉄骨柱塗装中に足場から墜落 (2024年6月19日)

原因・背後要因	対策
被災者は、墜落制止用器具を着用していたが、使用していなかった	元請及び協力会社は、あらゆる機会（朝礼、昼礼、夜礼、打合せ時、現場巡回時、周知会、安全衛生協議会等）を通じて、墜落制止用器具の使用の徹底（及び周知）を図る
作業員グループは、作業計画どおり作業できない状況が発生したが、元請に相談せず、不安全な状態での作業を行うこととした	協力会社（職長）は、計画どおり作業ができない場合は、一旦立ち止まり、元請に相談し、計画の見直しを行うことを徹底する
元請は、作業環境が大きく変化したことが、関係職長等に周知しなかった	元請は、作業環境が変化した場合は、朝礼・昼礼などで、関係職長等へ伝達する
当該箇所には、鉄網は設置されていたが、落下養生等はされていなかった	身を乗出す作業等がある開口部には、落下防護装置の設置を徹底する ※当該箇所はブラケットによる養生を追加する

※当該作業所へは、当面（高所作業が多い期間）、建築支店が毎日点検を実施
建築本部も週1回以上、点検を実施

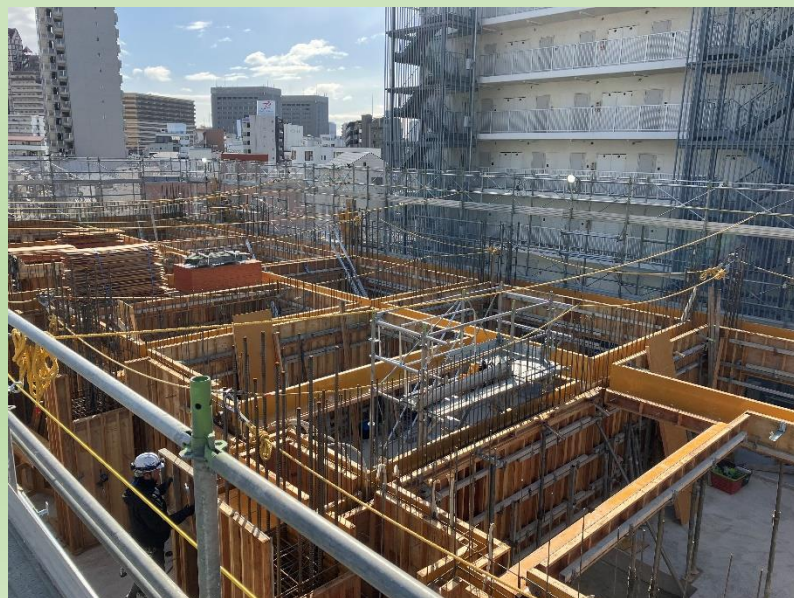
2024年6月19日（うめきた地上駅舎）

②継続定着させる取組（②－５）

①RC現場での墜落防止の取組を徹底する

対 策

最上階にWEBカメラを設置し、不使用者チェックします。設置することで、作業員さんの「**見られている**」という意識が強まります。常時監視はできませんが、作業状況を随時確認し**未使用者がいれば、即注意・是正**ます。是正に従えない場合は退場していただきます。



基準階までに現場に合った親綱の張り方を職長さんと大鉄社員で打合せしてください。



②継続定着させる取組（②－５）

②声掛けし合う風土の醸成に向けた取組(新規)

元請・協力会社さんがともに目指すところは、
事故・労災をできる限りなくすこと

これには、目指す姿として

元請・協力会社さんが自発的に注意し合う
風土が確立されていることが目標です。

目指す姿

元請・協力会社さん（職長さん等）
が自発的に注意し合う風土の確立



STEP2

元請社員による声掛けの充実



STEP1

声掛けし合う基盤づくり



現状がこの位置です。

- ・元請の若手からの声掛け不足している
- ・元請・職長さんとのコミュニケーション不足

②継続定着させる取組（②－５）

②声掛けし合う風土の醸成に向けた取組(新規)

- ・元請の若手からの声掛け不足している
- ・元請・職長さんとのコミュニケーション不足



- ・声掛けし合う風土の醸成
- ・若手社員への働きかけ
- ・オーナーさん及び職長さんへの働きかけ
- ・声掛けし合う風土についてのアンケート

目指す姿

元請・協力会社さん（職長さん等）
が自発的に注意し合う風土の確立



STEP2

元請社員による声掛けの充実



STEP1

声掛けし合う基盤づくり



今年度でSTEP2.5へ
レベルアップ！！

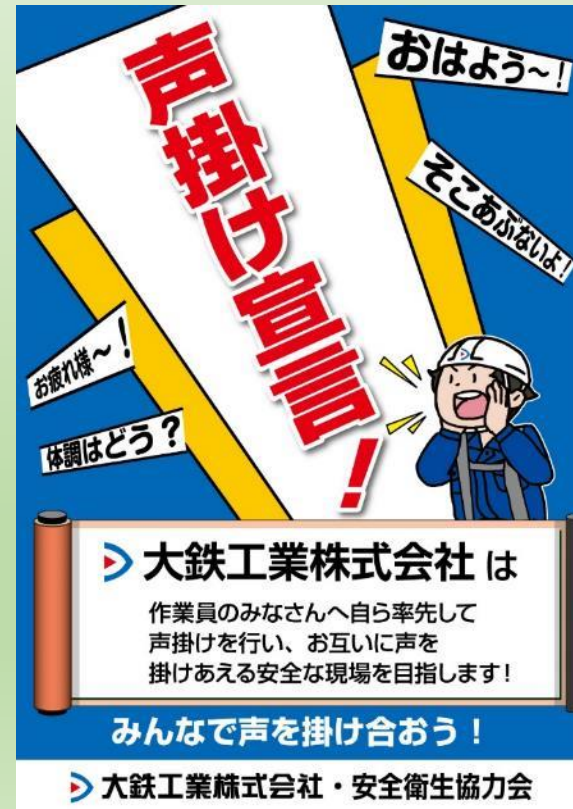
②継続定着させる取組（②－５）

「声掛け宣言」の取組

過去の墜落事故を二度と発生させないためにも、**お互いが声を掛けられる、気軽に連絡・相談できる環境**を構築していくことが必要になってきます。

そのためにも、現場に配布しています**幟、ポスター、ワッペン**を活用していただき、まずは**大鉄社員から「声掛け」宣言**し、積極的に声掛けさせていただきます！

職長さんにもワッペンを付けていただき、作業所が一体に、支店・作業所が一体になって取り組み、作業所全体、会社全体が声掛けし合える環境を構築して、より安全な作業現場を目指します！！



②継続定着させる取組（②－５）

③安全帯演練看板の設置(新規)

各現場で演練場は設置しているけど、やり方が分からない作業員さんの為に設置してます。

安全帯 演練方法

① 安全帯 ヨシ！
まず1つめのフックをかける
少し移動して

② ダブルフック ヨシ！
2つめのフックをかける

③ 掛け替え ヨシ！
フックをかけかえたら

④ 外して すすむ！
はずして すすむ

安全帯使用
よし！

声出し

声出し

移動を伴う私たちは必ずフックの掛け替えが必要です！
ダブルフックを有効活用しましょう！！

大鉄工業㈱建築支店

演練場の上部に貼ってあるので、見ながらの演練としてください。

外国人用の看板も今後作成予定です。

2024年度
四条畷ペデ作業所にて実施済

②継続定着させる取組（②－6）

6.現場全員が名前呼び合う風土づくり



白色：65歳未満、橙色：65歳以上、黄色：外国人労働者
（1年未満の技能実習生は初心者マーク）

●名前呼びすることによっての親近感

「〇〇さん、あぶないよ！」「〇〇さん、おはよう」などと呼び合うことでの親近感。指示をきちんと受け止めようという気持ちになっていくと思います。

●合わせて一声かけ運動の実施

仲間に気づきを与えたり、災害を未然に食い止める活動。向日町駅作業所での「ありがとうボード」を今後水平展開予定です。

※声掛けはコスト「0」です！どんどん声を掛けましょう！

7.毎月初めの『安全推進の日』に、安全について考えてみる

毎月初日は安全推進の日
～安全について少し考えてみる～ 大鉄工業 建設部門

毎月初日 安全推進の日の取組みについて

日々、「安全確保・品質向上・工程遵守・利益向上」に向けて働いている私たちが、毎月初日の朝礼時は、安全について少し考えてみて欲しいと思います。若手～ベテランまで、非常に多くの人が働く現場で、一つでも怪我を減らしたい。

●毎月初日の朝礼時に、この取組を全作業員さんへ配布しています。
●作業所長から説明があるので、しっかり聞いて自分ゴト化、懸念して下さい。
●朝礼以降、新しく入る仲間にも伝えて下さい。
※配布されたこの取組は、現場外のごみ箱には捨てて下さい。

今日は、重大事故『墮落』について考える

墮落制止用器具（安全帯）は、最後の砦です！
高所作業では必ず安全帯を使用してください！
これくらいの作業なら大丈夫だろ…、落ちないだろ…
落ちてみればわかる… などは以ての外です。
急いで？
面倒くさい？
ここが近かった？
とか、
関係ありません！
安全帯は必ず使用して下さい！！

安全帯を掛けていて助かった作業員さんはたくさんいます。皆さんもそういった経験がこれまでにあったのではないですか？

自由コメント欄（特に重大災害なので所長のコメントを記載してください）

毎月初日は安全推進の日
～安全について少し考えてみる～ 大鉄工業 建設部門

毎月初日 安全推進の日の取組みについて

日々、「安全確保・品質向上・工程遵守・利益向上」に向けて働いている私たちが、毎月初日の朝礼時は、安全について少し考えてみて欲しいと思います。若手～ベテランまで、非常に多くの人が働く現場で、一つでも怪我を減らしたい。

●毎月初日の朝礼時に、この取組を全作業員さんへ配布しています。
●作業所長から説明があるので、しっかり聞いて自分ゴト化、懸念して下さい。
●朝礼以降、新しく入る仲間にも伝えて下さい。
※配布されたこの取組は、現場外のごみ箱には捨てて下さい。

今日は、『声掛け』について考える

声を掛けるのにお金はいりません！
まずは日常会話から！
どんな会話でもいいです！！

おはようございます！
お疲れ様です！！
昨日の晩御飯は？
どんなマンガ読みます？
趣味は何ですか？ とか

安全帯してる？
出入庫はキチンとね！
安全通達は誰か読んで！
火花が落ちてるよ～ とか

そして、自然と声が出たら最高ですね！！

あの時、声を掛けていたら…、あの作業員さんは…
勇気を出して、声を掛けていたら…
後悔する前に、声を出してみませんか？？？

大鉄工業は「声掛けしあう風土の醸成」に取り組んでいます
大鉄社員はどんな皆さんに声を掛けていきます！！

自由コメント欄（所長のコメントを記載してください）

☑「安全推進の日」の、朝礼時にこれらのビラを**全作業員さんへ1枚 ずつ**配布します。
全員が手に持って見て欲しい。

☑**作業所長自身の言葉**で、このビラをネタにして、安全指導や所長の思い、又、腹に落ちるような**安全講和**をします。

※**作業所長の言葉には重み**があります。

このような、簡単な『安全ビラ』を13種類作成しています。その中から選んでください。

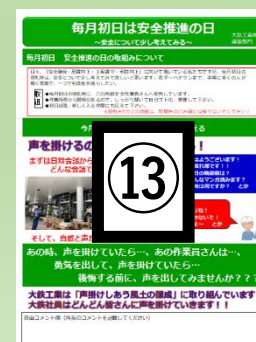
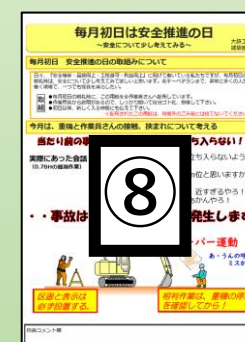
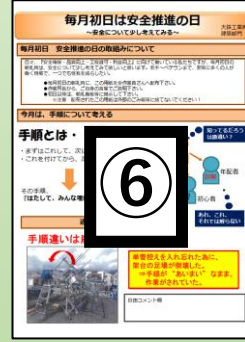
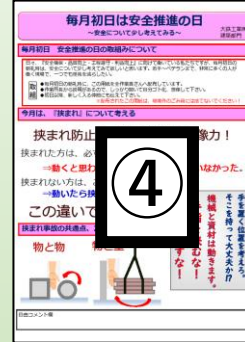
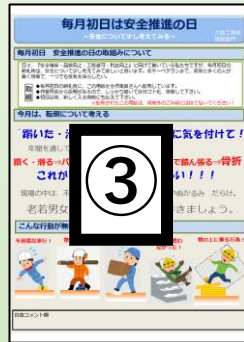
※安全推進の日には、安推部・支店幹部も可能な限り各朝礼へ参加致します。

②継続定着させる取組 (②-7)

イラストシート集 (全13種類)

声掛けピラ追加

- ①保護具
- ②横着行為
- ③捻挫骨折
- ④挟まれ
- ⑤切創
- ⑥手順
- ⑦立入禁止
- ⑧重機接触
- ⑨重機横転
- ⑩資機材の置き方
- ⑪確認
- ⑫墜落
- ⑬声掛け



②継続定着させる取組（②－７）

過去2回の墜落事故を教訓とした2項目を増やして13種類としました

毎月初日は安全推進の日

～安全について少し考えてみる～

大鉄工業㈱
建築部門

毎月初日 安全推進の日の取組みについて

日々、『安全確保・品質向上・工程遵守・利益向上』に向けて働いている私たちですが、毎月初日の朝礼時は、安全について少し考えてみて欲しいと思います。若手～ベテランまで、非常に多くの人が働く現場で、一つでも怪我を減らしたい。

取組

- 毎月初日の朝礼時に、この用紙を全作業員さんへ配布しています。
- 作業所長から説明があるので、しっかり聞いて自分ゴト化、想像して下さい。
- 初日以降、新しく入る仲間にも伝えて下さい。

※配布されたこの用紙は、現場外のごみ箱には捨てないでください！

今月は、重大事故『墜落』について考える

墜落制止用器具（安全帯）は、最後の砦です！

高所作業では必ず安全帯を使用してください！

これくらいの作業なら大丈夫だろう…、落ちないだろう…

これくらいの高さなら大丈夫だろう…

落ちてモケガしないだろう…

などは以ての外です。

急いで？

面倒くさい？

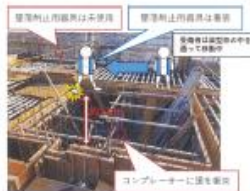
ここが近かった？

とか、

関係ありません！！

安全帯は必ず使用し

てください！！



安全帯を掛けていて助かった作業員さんはたくさんいます。皆さんもそういった経験がこれまでにあったのではないですか？

自由コメント欄（特に重大災害なので所長のコメントを記載してください）

毎月初日は安全推進の日

～安全について少し考えてみる～

大鉄工業㈱
建築部門

毎月初日 安全推進の日の取組みについて

日々、『安全確保・品質向上・工程遵守・利益向上』に向けて働いている私たちですが、毎月初日の朝礼時は、安全について少し考えてみて欲しいと思います。若手～ベテランまで、非常に多くの人が働く現場で、一つでも怪我を減らしたい。

取組

- 毎月初日の朝礼時に、この用紙を全作業員さんへ配布しています。
- 作業所長から説明があるので、しっかり聞いて自分ゴト化、想像して下さい。
- 初日以降、新しく入る仲間にも伝えて下さい。

※配布されたこの用紙は、現場外のごみ箱には捨てないでください！

今月は、『声掛け』について考える

声を掛けるのにお金はいりません！

まずは日常会話から！

どんな会話でもいいです！！



おはようございます！
お疲れ様です！！
昨日の晩御飯は？
どんなマンガ読みます？
趣味は何ですか？ とか



安全帯してる？
立入禁止キッチリね！
安全通達には響かないで！
火花が落ちてくるよ～ とか



そして、自然と声が出たら最高ですよ！！

あの時、声を掛けていたら…、あの作業員さんは…、
勇気を出して、声を掛けていたら…
後悔する前に、声を出してみませんか？？？

大鉄工業は「声掛けしあう風土の醸成」に取り組んでいます
大鉄社員はどんどん皆さんに声を掛けていきます！！

自由コメント欄（所長のコメントを記載してください）

7.安全推進の日に各作業所で作業員さんを表彰 要領

- ・基本は職長さん・作業員さんとします。
（該当しなければ協力会社さんでも可）
 - ・該当期間中に無事故の職長さん・作業員さん。
 - ・現場への有効な提案をしてくれた職長さん・作業員さん。
- その他
- ・自主パトロールを実施し、事故を未然に防いでくれた。
 - ・ヒヤリハットの報告をたくさんしてくれた。
- 等々、作業所内や職長会等で表彰会社を決めてください。

※品質・環境の内容でも可です。

※この取り組みは5月の安全推進の日から奇数
月とします。

※作業所から希望があれば、偶数月でも表彰
させていただきます。



②継続定着させる取組（②－７）

7.安全推進の日に各作業所で作業員さんを表彰

お願い

R6年度年計取組 作業員表彰

受領書

令和 7 年 1 月 6 日

大鉄工業(株) 建築支店

西宮住宅

作業所 殿

下記、正に受領いたしました。

品名	数量	摘要
クオカード (3,000円分)	1	

会社名(一)	大鉄工業(株)
会社名(二)	西宮住宅
会社名(三)	
勤務先住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田
受領者氏名	山科 光夫

* 枠内は必ず記入して下さい。



感謝状の一例

贈呈する金額は高くなくても、源泉徴収の対象になります。受領書の下部カッコ内に受取られた方の所属の会社名と住所を必ず記入してもらって下さい。

②継続定着させる取組（②－8）

8.全国安全週間、全国労働衛生週間

曜日毎に行事を設定(年2回)

全国安全週間
(7/1～7/7)

全国労働衛生週間
(10/1～10/7)

週間行事予定表
(例)



令和5年度 全国安全週間行事予定表 (例)

月 日	行 事 項 目	実 施 内 容
6月1日 (水) ↓ 6月30日 (金)	準備期間	①令和5年度全国安全週間実施要領に基づき、準備期間中に実施すべき重点実施事項についてまとめ、週間行事計画表を作成して準備期間・全国安全週間での展開を図る。 ②元方事業主、店社によっては、個別工事事業と連携して、全国安全週間で実施することを工事関係者に周知させる。 ③全国安全週間の趣旨を徹底させるため、経営トップが決意表明をする。安全メッセージ、安全に関するポスター等を準備する。 ④視察リスクアセスメントを行い、その結果に基づく安全対策を実施する。
(本週間)		
7月1日 (土)	休業の日	①身の回りの整理・整頓と室内の清掃をする。 ②ゆっくりと休息をとる。
7月2日 (日)	家庭の日	①家族にも安全に関する話をし、家族に合わせた安全への関心を呼びかける。 ②休日への労働に備えて、気分を切り替える。
7月3日 (月)	趣意徹底の日	①安全大会を開催し、全員でゼロ災害の誓いをする。 ②会場に安全に関するポスター、無罪等を掲示する。 ③経営者が決意表明をする。 ④安全週間の意義と重要性を強調し、週間行事予定を説明する。 ⑤安全に関して功績のあった店社、個別企業、個人等の表彰を行う。
7月4日 (火)	総点検の日	①保護帽、安全帯の保護具関係品を点検し、不良品の交換、修理を行う。 ②全現場の点検、整備、整頓を行う。 ③服装、履物、保護具の着用について全員で確認する。
7月5日 (水)	パトロールの日	①労保による合同の安全衛生パトロールを実施する。 ②従来災害防止対策の確認、電動工具の点検、4S「整理・整頓・清掃・清潔」を中心に点検を行う。 ③作業資格が必要な作業の場合に適正配置がなされているかを確認する。
7月6日 (木)	教育の日	①災害事例を扱い全員で安全について討論を行う。 ②安全に関するスライド、ビデオ等の上映会を行う。 ③外部講師を招いて安全衛生研修会を開催する。
7月7日 (金)	反省の日	①全国安全週間とおして反省会を開催し、今後の安全管理のあり方、取組み方、要領事項等に関し、討論、検討をし、決定する。

※この週間行事計画表を参考にして、独自の「全国安全週間計画表」を作成し、労保の労働災害防止に対する安全意識の浸透を図って下さい。

②継続定着させる取組（②－８）

各現場に合わせた「**全国安全週間**」「**全国労働衛生週間**」の計画表を作成し、**労働災害防止や衛生管理等に対する意識の高揚を図ります。**

全国安全週間 (7/1～7/7)

6/1～6/30	準備期間
7/1(火)	趣旨徹底の日
7/2(水)	総点検の日
7/3(木)	パトロールの日
7/4(金)	教育の日
7/5(土)	休養の日
7/6(日)	家庭の日
7/7(月)	反省の日

全国労働衛生週間 (10/1～10/7)

9/1～9/30	準備期間
10/1(水)	趣旨徹底の日
10/2(木)	総点検の日
10/3(金)	パトロールの日
10/4(土)	休養の日
10/5(日)	家庭の日
10/6(月)	反省の日
10/7(火)	教育の日

ポスターを張るだけでなく、協力会社さんと一緒になって、曜日ごとにやるべきことを意識してもらい、いつもと違った1週間で現場を管理してもらいます。

9.現場施工サイクルの見える化

（マグネット式の時間サイクル）



- ・ 酷暑期… 1 時間ごとの休憩
- ・ 寒冷期… 朝や休憩後の準備体操など

※現場の一日の施工サイクルを
見える化します

マグネットシートで張替えが可能です

酷暑期：7～9月

寒冷期：12～2月

通常期：上記以外

現場の特情に合わせて
時期を決めてください。

2024年度 建築支店全現場で施行済



②継続定着させる取組（②－9）

9.要点を明確にした朝礼・昼礼の実施

（確認と指示）

※朝礼進行表の作成

朝礼進行表（参考）

……作業所

令和5年4月1日付

※この進行表はあくまで参考です。各作業所で朝礼進行表を作成下さい。
その際に赤字の項目は必須で取り入れて、当日の作業内容と共に把握下さい。

チェック欄	確認内容
1	ラジオ体操（全員参加）※職員と職長は作業員の体操をチェック
2	縦、横整列（職員共）※全員顔を上げる、整列するまで始めない
3	月間目標、スローガン、作業所取組目標の周知
4	行事予定等の連絡
5	各職長からの報告事項
6	社員より当日の連絡調整事項の周知（掲示図面）
7	搬入車輛の確認
8	作業主任者の配置確認【挙手】
9	立ち入り禁止が必要な作業の確認【挙手】
10	火気取り扱い作業の確認【挙手】
11	高所作業者の確認【挙手】
12	保護メガネ必要作業の確認【挙手】
13	保護マスク必要作業の確認【挙手】
14	重機械類作業の確認【挙手】
15	玉掛作業の確認【挙手】 ・玉掛作業の特定 ・玉掛資格の確認
16	燃料補給作業の確認【挙手】 ・燃料取り扱い作業の特定 ・油漏れ防止対策の指示
17	新規入場者の確認【挙手】 ・新規入場者の特定 ・新規入場者教育等に関する指示
18	各職員からの指示事項※同僚指示事項があまり被らないように
19	（JR）保安要員の名前と
20	（JR）運転状況の報告
21	（JR）監督員からの指示
22	業者からの質問
23	安全理念の唱和・作業員の6つの法令唱和・足場三原則唱和 服装確認唱和・STK演練・ゼロ災唱和 等
24	KYK危険予知活動（グループごとに工管立会い指導）

参考

JR工事

大鉄工業㈱ 建築支店 安全推進部

昨年度から朝礼進行表を各作業所の特情に応じ
て作成、基本統一された朝礼進行としました。

朝礼・夜礼は「安全の要」でもあり、確認と指
す。

各現場では朝礼進行表を
作成し、それに則って朝
礼を行っています。

加する社
夫すると
す。
理に要す

- ☑新現場は朝礼進行表を作成してください。
- ☑その際、赤字の項目だけは必ず入れて下さい。
- ☑日々、進行表に従って、作業員さんの意識を
取り込むよう進めて下さい。

②継続定着させる取組 (②-9)

赤字の項目は必ず
入れてください!!

7	搬入車輛の確認	・調査や周知を必要とする車両 ・誘導方法
8	作業主任者の配置確認【挙手】	・作業主任者の配置が必要な作業を特定 ・作業主任者資格の確認
9	立入り禁止が必要な作業の確認【挙手】	・立入り禁止措置が必要な作業の特定 ・他作業員への周知
10	火気取り扱い作業の確認【挙手】	・火気取り扱い作業の特定 ・火災防止の指示 ・有資格者の配置
11	高所作業者の確認【挙手】	・高所作業者の特定 ・高所作業者の教育等に関する指示
12	保護メガネ必要作業の確認【挙手】	・保護メガネが必要な作業の特定
13	保護マスク必要作業の確認【挙手】	・保護マスクが必要な作業の特定
14	重機械類作業の確認【挙手】	・重機械類作業の特定 ・重機械類作業の教育等に関する指示
15	玉掛作業の確認【挙手】	・玉掛作業の特定 ・玉掛作業の教育等に関する指示
16	燃料補給作業の確認【挙手】	・燃料補給作業の特定 ・燃料補給作業の教育等に関する指示
17	新規入場者の確認【挙手】	・新規入場者の特定 ・新規入場者教育等に関する指示
18	環境の変化・作業手順の変更の確認【挙手】	
19	各職員からの指示事項	※同様の注意指示事項があまり被らないように
20	(JR)保安要員の名前と配置位置の確認【挙手】	JR工事
21	(JR)運転状況の報告(当日、工管より)	

その中で、職長さん・作業員さんに確認のため、挙手してもらう項目があります。
特に高所作業をする作業員さん、挙手してもらうことにより、職長さん・作業員さん本人、また社員の安全意識も高まります。

「環境の変化・作業手順の変更」の確認はうめきた墜落事故を受けて、必ず確認してもらうことになっています。

②継続定着させる取組（②－9）

抜けのない確認をするための昼礼進行表

（確認と指示）

昼礼進行表（参考）

-----作業所

令和7年4月1日付

※この進行表はあくまで参考です。各作業所で昼礼進行表を作成下さい。
その際に赤字の項目は必須で取り入れて、当日の作業内容と共に把握下さい。

チェック欄	確認内容
1	会議室、研修室等に集合 ・決められた時間を守る ・全員そろっているか確認 ・職員が事前にPQCに必要事項（作業内容・搬入車両等）の打ち込み
2	各職長から午後の作業と翌日の報告（作業変更・追加の搬入車両含む） ・午後の作業で確認の赤字・作業手続の変更・追加の確認 ・変更があれば、一旦立ち止まり再確認、再検討 ・作業内容・作業人員・危険配
3	翌日の搬入出車両の確認 ・新機・ゲート・車両・台車等
4	翌日の搬入機械使用の確認（クレーン、EV等） ・配置、新機調整等 ・臨時作業計画書の作成確認
5	翌日の搬入機械作業の確認 ・臨時、高所作業車、フォークリフト
6	翌日の ・立入り禁止が必要な作業の確認 ・火気取り扱い作業の確認 ・安全通路の確認 ・立入り禁止範囲が必要な作業の特定 ・火気取り扱い作業の特定・火災防止の指示 ・火気使用時の再確認 ・上記の立入り禁止範囲、火気使用範囲と重ならないように関係者全員で確認する
7	翌日以降に必要な備品・機材の確認 ・雑金物、リース品等
8	大鉄社員からの指示事項（上記以外の伝達があれば） ・同様の主要指示事項が漏らないように
9	午後からの行事予定等の再確認 ・各種検査、安ハト等
10	翌日の行事予定等の連絡 ・KY推進の日・各種検査・安ハト等
11	作業員等の体調確認（声掛け） ・体調不良、怪我をした作業員がいないか ・いれば必ず報告してもらう
12	
13	（JR）保安要員の名前と配置位置の確認（変更時）
14	（JR）当近現場運転状況の報告（工管より）
15	（JR）監督員からの指示事項（追加時）
16	
17	職長・作業員からの挨拶等
18	※一言責務の日は場所等の指示
19	※職長ハトロール等の報告
20	安全衛生日誌に職長サインまたは出席者各氏にサイン

大鉄工事部 建築支店 安全推進部

今年度から朝礼同様、昼礼時の進行表に則って昼礼をしてもらうことになりました。自現場に合わせて、確認が必須項目を決めてください。基本的に赤字が必須確認事項です。JR当近現場はピンク枠内も必須です。

若手社員でも進行しやすいように、抜けのない進行表の作成をお願いします。

昼の打合せに出席された職長さんは「翌日の作業に対する確認サイン」を安全衛生日誌等に必ず記載していただくようお願いいたします。

10.一次協力会社による『自主パトロール』を継続

提出：作業所長まで

2024年度は延**690社、1708回**の
自主パトが実施されました。
ご協力ありがとうございました。

実施記録表の
「見える化」
をしています

②継続定着させる取組（②－10）

要領

- 請負金額が合計300万以上の一次協力会社さん。
- 実施時期、方法については作業所長がオーナーさん等と打合せ。
- パトロールは各社が請け負っている工事の範囲。
(他社の工事は関係なし)
- パトロール用紙に各社で 優・良・指導 等を判断してもらう。
- 実施者は1次のオーナーさん、又は担当者さん等、実際に安全を指導出来る方が実施。
- 不備は不備でしっかり記載してもらい、不備があれば速やかに是正。該当なしの項目は抹線して下さい。
- 現場事務所に掲示している記録表に、日付と○印を記入。
- パトロール用紙原本はオーナーさん等が保管、コピーはその作業所で保管します。
- 一覧表は事務所内掲示及び安全衛生協議会資料に添付します。

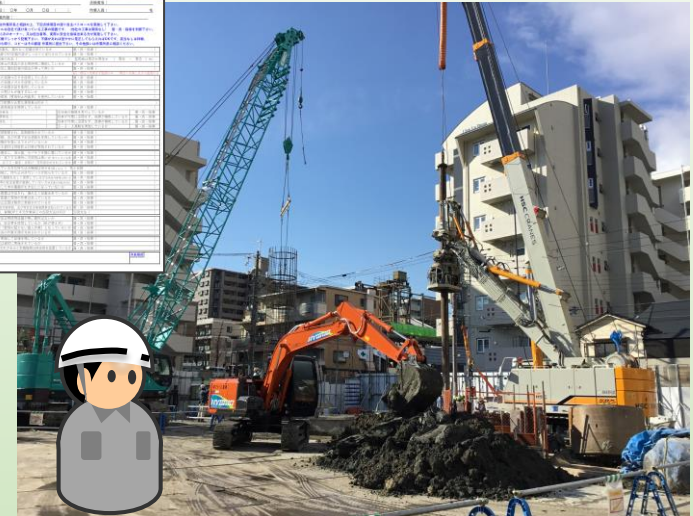
②継続定着させる取組（②－10）

流れのイメージ



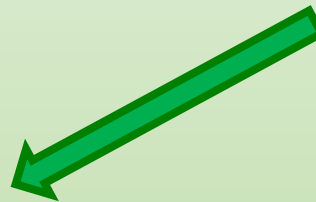
契約時or事前

- ・案内と点検用紙を渡す
- ・趣旨を説明する
- ・実施時期を協議する



一次協力さん会社によるパトロール実施

- ・工事着手時とか
- ・機器や作業員が多い時とか



実施記録表に○印と
日付を記入
(見える化)



作業所長と直接確認会話を行って下さい
※ここが一番重要だと思っています

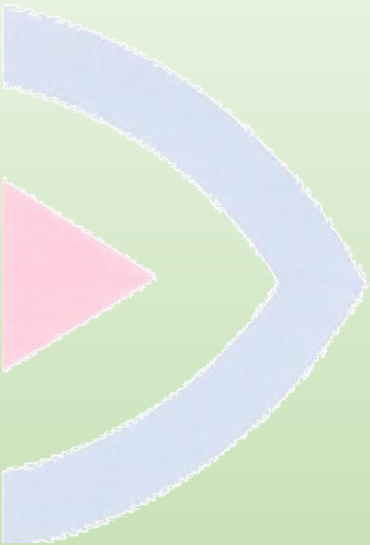


オーナーさんが原本
持ち帰り



コピーは
現場保管

分類



①継続レベルアップする取組

②継続定着させる取組

③新規取組

- 1.重点管理パトロールの実施
- 2.重機作業時の作業員との接触防止

④その他

1.重点管理パトロールの実施

現場の進捗、工種、工事の難易度等を、支店内で確認し、月ごとに重点管理（特別支援）する現場を決めて、パトロール等を実施します。

2024年度 支援実績

6～8月	うめきた地上駅舎作業所
9.10月	片町作業所
11.12月	弁天町駅作業所
1～3月	竜野駅作業所



主な支援内容

- ・週間工程会議での次週の危険ポイントのアドバイス
- ・職長パトロールに随行
- ・若手社員との現場パトロール
- ・安協前のパトロール立会

決して、現場の粗を探しに行くものではありません。

③新規取組（③－２）

2.重機作業時の作業員さんとの接触防止

杭・土・設備・解体工事等で重機を使用する際、手元の作業員さんがベスト等を着用することで**オペレーターの視認性を高め**、接触防止を図ります。（重機の大きさは関係ありません）



ベストの指定はありません
目立つ色、形状としてください！！



※各社で段取りをお願いします。

③新規取組（③－２）

2.重機作業時の作業員との接触防止

既に下記の協力会社には文面でお伝えしています。

株式会社光栄
三好建設株式会社
尾藤建設株式会社
株式会社ツバサ建業
丸翔建設株式会社
株式会社テノックス
天野建設株式会社
豊開発株式会社
工建産業株式会社
株式会社ユウテック
高島株式会社
東洋テクノ株式会社
丸互基礎工業株式会社
前田道路株式会社
鹿島道路株式会社

日本道路株式会社
大林道路株式会社
タイハイ建築株式会社
株式会社エステック
大成ロテック株式会社
株式会社大建工業所
小松設備設計有限会社
JR西日本電気システム株式会社

計23社



5/14まで試行とします。

関係協力会社 殿

2025 年 3 月 25 日

大鉄工業㈱建築支店
安全推進部部长

重機作業時における作業員との接触防止について

建設現場では多くの現場で重機が稼働しており、それに伴い全体的に旋回重機と作業員が接触・激突する事故が頻発しています。重機には死角が多く、急旋回して吊り荷に打たれる、旋回範囲にいた作業員がバケットに激突するなど、些細な接触でも、その衝撃は大きく重大な事故に繋がります。

令和 7 年度の取組として、重機を使用する際、手元作業員がベストを着用することにより、オペレーターからの視認性を高め、重機との接触防止を図ることとします。

着用ベストについては、各社で用意していただくよう、よろしくお願いします。

記

1. 対象工事
杭工事、土工事、解体工事、設備工事(配管等の埋設作業時など)
※ 重機の種類、サイズに係わらず
2. 手元作業員が着用するベスト
色やタイプは指定しない(反射材の付いたもの、蛍光色のものなど目立つもの)
3. 開始時期
準備出来次第(2025 年 5 月 14 日までは試行期間とします)

【送付先】

株式会社光栄、三好建設株式会社、尾藤建設株式会社、株式会社ツバサ建業、丸翔建設株式会社、株式会社テノックス、天野建設株式会社、豊開発株式会社、工建産業株式会社、株式会社ユウテック、高島株式会社、東洋テクノ株式会社、丸互基礎工業株式会社、前田道路株式会社、鹿島道路株式会社、日本道路株式会社、大林道路株式会社、タイハイ建築株式会社、株式会社エステック、株式会社ツバサ建業、大成ロテック株式会社、株式会社大建工業所、小松設備設計有限会社、JR 西日本電気システム株式会社

以上

【連絡先】
大鉄工業㈱ 建築支店 安全推進部
西岡、松波

分類

①継続レベルアップする取組

②継続定着させる取組

③新規取組

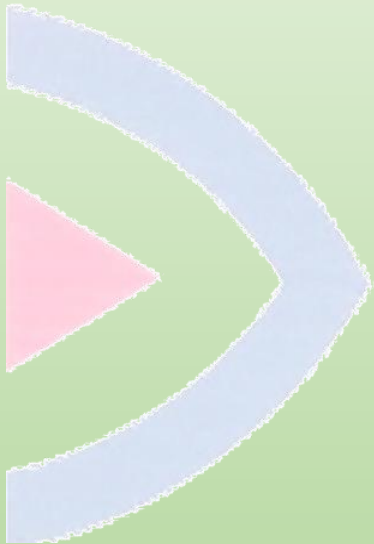
④その他

安全管理の仕組み（線路内作業）

DVD視聴

「すごい職長！」

～今、職長に求められるもの～



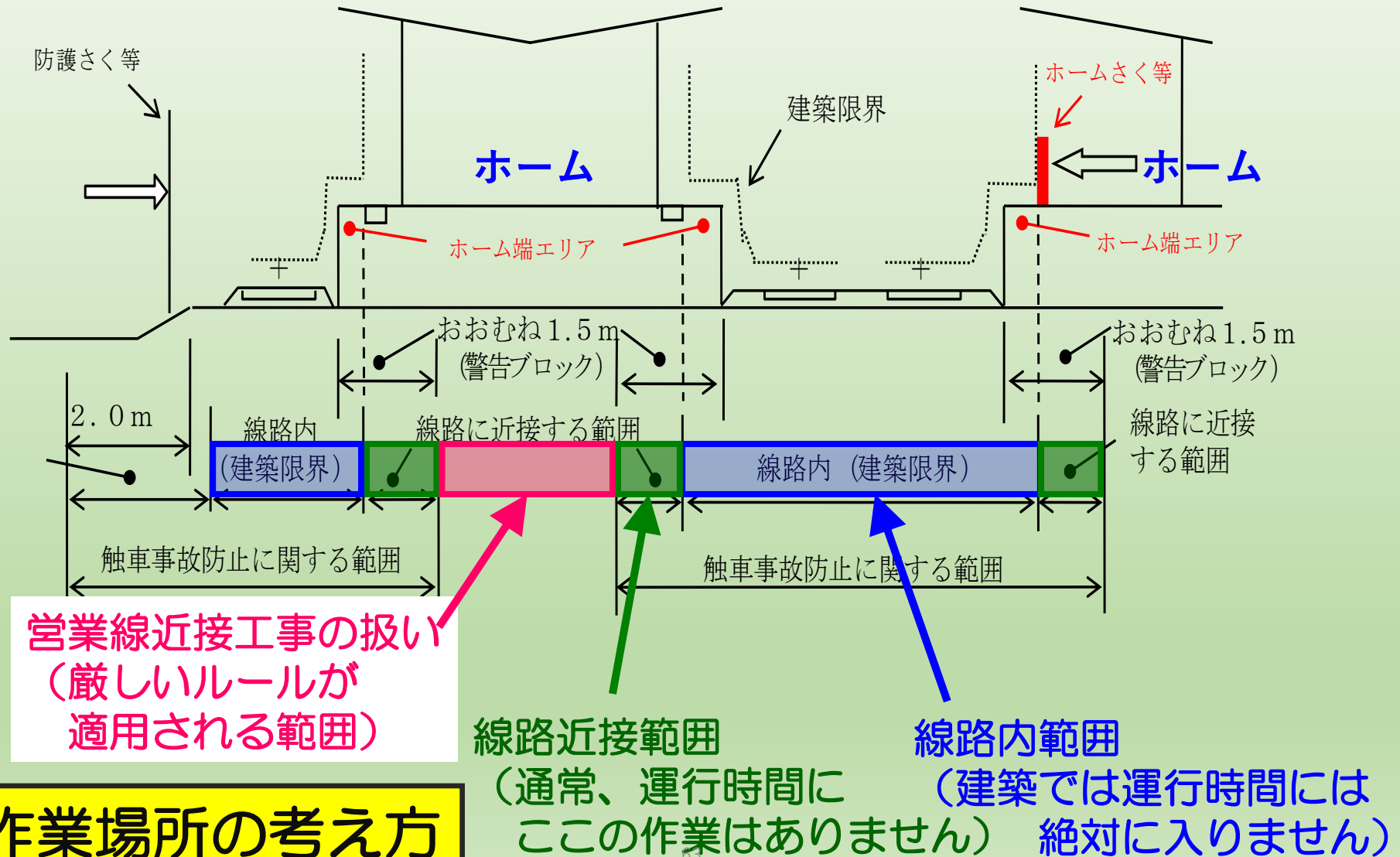
JR関係工事を請け負われている皆様へ

安全管理の仕組み (線路内作業)

線路内は危険性が非常に高いことから、**建築工事では列車運行中の線路内には絶対に立ち入りません。**
線路内作業が発生すれば、多くの手続きや教育・適性の管理が必要となります。

④その他

JR関係工事を請け負われている皆様へ



JR関係の工事をしておられる皆様へ

線路内作業が発生すれば、「**安全管理の仕組み**」に則り作業を進めなければなりません。

基本的に建築工事では線路内作業がありません。

もし、他支店等で線路内作業をすることがあれば、協力会HPに展開していますので、参考にしてください。



すごい 職長!

今、職長に求められるもの



この後、

「すごい職長！」

～今、職長に求められるもの～
というDVDを視聴していただきます。

実際に働く『すごい職長』
に密着取材し、職長のある
べき姿をドキュメンタリー
タッチで描いています。
自社の職長さんと重ねながら、
視聴して下さい。



以上で令和7年度 安全の取組
説明を終わります。

今年度も

ご安全に！

才 一 ナ 一 研 修 (令和 7年 上期)

大 鉄 工 業 株 式 会 社
建 築 支 店 品 質 環 境 部

オーナー研修レジュメ

○【連絡】組織体制の変更について

<<品質>>

○【事務連絡】大工事 第899号 品質管理における不正防止の徹底について

○【再周知】専門工事業者の自主検査について

<<環境>>

○【継続取り組み】 産業廃棄物の分別

○【連絡】組織体制の変更について

4月1日付で組織体制が以下の通り変更となりました。

(旧)生産技術部

(新)品質環境部

《品質》

○【事務連絡】大工事 第899号 品質管理における不正防止の徹底について

JR西日本大阪工事事務所より大工事 第899号「品質管理における不正防止の徹底について」が通知されましたので報告します。

大鉄工業株式会社
代表取締役社長
半田 真一 殿

大工事 第899号
2025年3月18日

西日本旅客鉄道株式会社
契約責任者
大阪工事事務所長
森清 裕与之



品質管理における不正防止の徹底について

平素は弊社事業に格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

すでに報道等でご案内の通り、昨年、JR 貨物において輪軸組立作業における不正事象が発生しました。当該不正事象の詳細は別添資料のとおりですが、背景等は異なるものの過去には建設業界においても品質不正事象が発生しています。幣事務所においては、建設工事における品質不正は、鉄道の安全運行や施設をご利用となるお客様の安全を脅かしかねないことから、品質管理における不正事象を絶対に発生させてはならないと考えております。

については、貴社においては、改めて品質管理に係るルールを遵守して不正の発生を防止するとともに、下記のとおり関係者への適切な教育を行っていただきますようお願いいたします。なお、教育した証跡を提出願います。



品質不正防止の取り組み（教育資料） 【建築】

建築技術課

1. はじめに



他会社で発生した車軸への圧入に係る不適切な事象を鑑み、2024年10月1日に安全統括管理者から各管理者に対して、法令・ルール遵守の徹底を図るとともに、改ざん等不正行為が発生する余地がないか、防止する仕組みが機能しているかを確認するよう指示があった。

大阪工事事務所では、許認可、品質管理・しゅん功検査、安全管理・資格管理に係る業務で上記の確認を行った。そのうち、品質管理・しゅん功検査については、「列車走行およびお客様の安全に直結する業務」に絞り込んで確認を行った結果、仕組みが形骸化すると不正が見抜けられない可能性があることを認識した。具体的には、請負会社によるチェックが形骸化したり、検査員が帳票の不備に気づけなければ施工管理者等の独断の不正を見抜けられないことになる。

本資料では、過去の不正の事例及びその対策として、請負会社に対しては不正に対して実施された対策、監督員・検査員に対しては、規程類に定められたルールを示した。関係者においては、改めて品質管理に係るルールを遵守して不正の発生を防止するとともに、検査や施工管理において本資料を関係者教育に活用していただきますようお願いいたします。

2. 過去品質不正事例一覧



防耐火認定 建材偽装 (2007年)	ニチアスがケイ酸カルシウム板を用いた軒天材、耐火間仕切り壁等に大臣認定の不正受験を公表。被害は10万棟以上に及んだ。この公表の1週間後に東洋ゴム工業が同様の不正を公表し、大臣認定偽造の蔓延が明るみに出た。その後の国土交通省によるアンケート調査により、40社が取得した大臣認定77件の偽造が判明した。
六会コンクリート 生コン偽装 (2008年)	神奈川県が生コン製造・販売会社、六会コンクリートが生コンJISで認められていない溶融スラグを細骨材の一部として不正混入し、正規の生コンであると偽って出荷していた。違法物件は100件を超えた。
東洋ゴム 免振偽装 (2015年)	東洋ゴム工業の子会社、東洋ゴム化工品の製造した免震部材が大臣認定の性能評価基準を満たしていなかったことが発覚。通常の手順にはないパラメータを検査機器から出力された数値にかけ、出荷可能な範囲の性能を持っているように偽装していた。
杭工事偽装 (2015年)	横浜市内の分譲マンションに傾きが確認されたことをきっかけに、杭工事を担当した旭化成建材による施工報告書のデータ改ざんが発覚。支持層の位置を判断する電流値データを別の杭のデータを流用していた。全国で同様の改ざんが見つかったことから問題が拡大。調査の結果、ジャパンプイルなど複数の杭工事会社がデータ改ざんをしていた。
免震ダンパー 性能偽装 (2018年)	油圧機器大手のKYBとその子会社で免震・制振用オイルダンパーの性能検査のデータ改ざんが発覚。改ざんは少なくとも15年間にわたり行われ、全国で1000件近くの物件で、改ざんした免震・制振装置が採用されていた。納期に間に合わせようと作業のやり直しを避けたことが不正の一因になったという。

日経アーキテクチャ参照

2. 過去品質不正事例一覧



レオパレス21 施工不備 (2019年)

小屋根の界壁施工不備に加え、耐火構造の大臣認定不整合など様々な問題が発覚した。供給総数約4万棟超の約半数に施工不備があることが判明した。外部調査委員会から、全社的・組織的不正と認定された。また、経営陣に問題を指摘できない企業風土があったとも指摘された。

鉄骨工事 計測値偽装 (2023年)

- ・大成建設が札幌市内で施工中の超高層ビルの鉄骨で精度不良が発覚した。754箇所中77箇所の柱で、JASS6に基づき契約で定めた柱の傾きの限界許容差を平均4mm、最大21mm超過していた。また、床スラブにおいても245箇所の精度不良があったが、計測値を改ざんし、検査合格と工事監理者に報告していた。改ざんの背景として、品質管理が1人の社員任せになっていたことが考えられる。この社員は、作業のやり直しによって工期が遅れることを恐れたと話している。今回、鉄骨建て直しにより、完成が28カ月遅れる予定である。
- ・横手建設がJR横手駅前の再開発事業で、アンカーボルトの位置を間違えたが、施工し直しすることはなく、1階～3階の鉄骨柱を0.275度傾けアンカーボルトのずれを吸収した。さらに、柱の傾きに合わせて2階梁端部を切断したり、柱と梁を接合するボルトを新たに開けたりした。こちらも、施工ミスには気づいていたが、工期内に引き渡しできなくなることを恐れ、工事監理者に施工ミスを報告しなかったと工事担当者は話している。

日経アーキテクチュア参照

過去の品質不正事例から、適切な施工管理はもちろんのこと、専門工事においては出荷元の品質管理体制や不正防止の仕組みといった、出荷元が適切な管理状況であるかの確認も非常に重要です。

継続して法令や社内ルールの順守をお願いします。

近年、建設業界でも不祥事が断続的に発生しています。

組織的な不正が明るみになると、社会からの信用を失い、経営難に陥る企業も少なくありません。

社会が企業のコンプライアンスに向ける視線は、年々厳しくなっている中、

ひとたび地に落ちてしまった社会からの信頼を回復させるには、

非常に長い時間をかけ、高い代償を支払う必要があります。

○【再周知】専門工事業者の自主検査について

- ・専門工事業者の自主検査の実施について再周知します。

【専門工事業者の自主検査について】

専門工事業者への発注にあたり配布している「一般共通事項（注文書抜粋）」では「後工程に支障のないよう各専門工事会社が内容を理解し自主管理を行い、品質を確保する」



品質確保のため、各専門工事会社による自主管理を実施することとなっています。

【専門工事業者への周知】

「大鉄工業 安全衛生協力会 建築支部」の品質環境部からの伝達事項に掲載しています。

<<大鉄工業 安全衛生協力会 建築支部への掲載>>

一般共通事項

令和3年9月6日改定

総 則

甲・乙とは、大鉄工業株式会社（以下「甲」）と貴社（以下「乙」）と定める。
現場における施工は、この一般共通事項に従って、建設業法を遵守した上で、後工程に支障のないよう各専門工事会社が内容を理解し自主管理を行い、品質を確保する。

見 積

見積費用は専門工事会社負担とする。

下 請 契 約

貴社における下請契約（二次下請以降）においても建設業法を遵守する事。
（500万円以上の下請契約については建設業法の許可が必要）

下 小 屋

工事の施工に必要な下小屋・詰所・保管庫・休憩所などの設置は原則として大鉄工業側の負担とし、無償貸与する。
特別な事情がある時は、実費を徴収する。又工事の詰所、下小屋等を必要とする場合は、専門工事会社の費用負担とする。

電気・給排水

工事用の電気及び共用部照明・給排水の設備費及び料金は原則として大鉄工業側の負担とする。
専門工事会社持込機械の場合、分電盤又はコンセント以降の配線は専門工事会社の負担とする。
投光器については専門工事会社の負担とする。

機 械・工 具

工事用機械工具が専門工事会社持ちの場合
運搬・据付・撤去及び消耗品などすべての費用は専門工事会社の負担とする。
工事用機械工具を大鉄工業側が貸与する場合
取り扱い、管理には十分な配慮を要。使用後の清掃は専門工事会社の負担とし清掃後直ちに現場内の指定位置に返納する。
取り扱い不備による修理費は専門工事会社の負担とする。
特別な事情がある場合は貸与に要する実費を徴収する。
玉掛用具（ワイヤー等）は専門工事会社の負担とする。

機械取扱者

専門工事会社の機械取扱者は関係法規にもとづく有資格者でなければならない。

免注者場重施設の利用

大鉄工業側の定めた運転者が操作する機械の場合
使用料・運転費用は原則として大鉄工業側の負担とする。
専門工事会社各自の運転者が操作する機械の場合
使用料は大鉄工業側の負担とし、運転費用は専門工事会社の負担とする。

基 準

基準とは、型枠建込前の基準平面（基準芯墨）と、型枠解体後の仕上基準墨とをいい、小墨は、基準墨以外の型枠建込用小墨と、仕上用小墨をいう。
その内容は、次のとおりとする。

基 準 墨

基準平面墨（型枠工事）：柱芯・壁芯などの基準となる各芯墨又は返り墨。
仕上基準墨（型枠工事）：床からのレベル墨。柱芯・壁芯などの垂直立上り芯墨（内外部共）。
窓、出入口などの開口部の芯墨。返り墨。露出梁型の芯墨。
レベル墨。階段墨。ブロック面等の上記各墨。

小 墨

型枠建込用小墨（型枠工事）：建込用平面墨。
建込用レベル（鉄筋へのテープ巻きほか）。
コンクリート天端墨。
仕上用小墨（各仕上工事）：各職がその仕事を仕上げるのに必要な小墨。

養 生

工事施工中立入禁止の為のバリケード設置、または表示など軽微なものは当該専門工事会社が負担する。
取付工事中及び完了後の養生及び撤去は専門工事会社が行う。

材料・製品の運搬

工事材料、製品が専門工事会社持ちの場合
持込運搬・場内小運搬は原則として専門工事会社の負担とする。
工事材料、製品を大鉄工業側が支給する場合
指定位置での支給とし、支給位置からの持込運搬・場内小運搬は原則として専門工事会社の負担とする。

片 付 け

工事施工に伴い毎日発生する屑・残材・産業廃棄物

当日の作業終了時の指定位置への集積は専門工事会社が自ら行うものとする。
片屑・ベントボトル等は、産業廃棄物ではないので各自持ち帰りとする。（地域条例による）
場内分別・収集・集積は専門工事会社の負担とする。

専門工事会社の持ちの材料

工事完了時の余剰材の撤出は専門工事会社の負担とし、直ちに撤出する。

免注者の支給材

工事完了時の余剰材の指定位置への返納は専門工事会社の負担とし、直ちに返納する。

検 査

甲は、注文書、注文請書、設計図書、工程表等に適合しない疑いのある施工箇所について、検査のために必要があるときは、乙にその理由を通知して、乙の施工した工事の出来形部分を検査し、又は乙に破壊検査を依頼することができる。
破壊検査の結果、施工が設計図書等に適合していない場合は、破壊検査に要した費用及びその復旧に要する費用は乙の負担とし、適合している場合、又は適合していない場合であっても、その施工が甲の指図又は承認に基づく施工であるとき若しくは甲の指定した施工方法による施工であるときは、いずれの費用も甲の負担とする。但し、乙が甲の指図等につき、適当でないことを知りながら、甲に通知せず施工した場合その施工について乙に故意又は重大な過失がある場合は甲乙協議のうえその負担割合を定める。
破壊検査の結果、施工が注文書、注文請書、設計図書、工程表等に適合していた場合、又は適合していなかった場合であっても、その施工が甲の指図等によるときは、乙は甲に対して、破壊検査及びその復旧工事のために要した期間の範囲内で工期の延長を求めることができる。但し、乙が甲の指図等につき、適当でないことを知りながら、甲に通知せず施工した場合その施工について乙に故意又は重大な過失がある場合においては、甲乙協議のうえ工期の延長の可否、延長する場合の期間を定める。

竣 工 検 査

竣工検査は原則として現場代理人が立会い、指摘された事項についての確認と修復は定められた期日までに、その費用は専門工事会社の負担とする。

予 備 品

竣工時用意する予備品及び機械類の保守工具等はその都度指示により専門工事会社が納入し、その費用は専門工事会社の負担とする。

職 長 会

施工中は職長を職長会に参加させ、現場の円滑な運営（職長会主導）に協力する。

安全 関 係

開礼時に作業員は安全帯（Wフック・Sフック・なし）を着用し高所作業時には使用する。
高所作業で安全帯未使用の作業員についてはレッドカードを発行し、即場内退場を命ずる。

労働災害防止対策

安全大会等への参加および現場が主催する安全講習会等への参加を行う事。
安全衛生推進者等が作業場所への巡回等の現場管理の実施を行う事。
二次下請とは、労働災害防止対策の実施者及びその経費の負担を明確にしている事。

環 境 関 係

当作業所が環境ISOを運用している事をふまえ、関係者に環境に対する自覚をさせる事。
環境に関する法・取決事を順守し、環境改善に配慮する事。
近隣等に配慮し環境美化等に協力する事。
産業廃棄物の処理は適正に行い、廃棄物の低減を図る事。
排水・汚土の上に廃液等を流さない事。
騒音・振動の苦情が出ないように対策型を使用するようにし、配置にも配慮する事。又、必要により防護をおこなう事。
埃の防止を図る事。又工事用車両は指定された所に駐車し、アイドリングはしない事。
機械設備の油漏れ防止の為、搬入前に点検を行う事。又、始業前点検を行い、油漏れの恐れがある機材等の設置箇所をシート等の養生を行う事。
大阪府対策地域を発着する1・4・8ナンバーの車両は、大阪府が交付する適合車標を表示した車種規制適合車を使用する事。
場内に駐車場はないものとする。

保 険 等

労災の上積保険

労働災害特別補償制度（災害総合保険）等に参加すること。

工事用自動車

工事には使用する工事用自動車には、1車両につき、1億円以上の任意保険に加入すること。

乙及び乙が雇用する労働者の社会保険への適正な加入を徹底すること。また、乙の再下請負人に対し、同様の指導を行うよう要請すること。

協力業者労働災害互助会

協力業者労働災害互助会（大阪府労働災害対策協議会）に加入し、会費を（0.6円/1人/1日）毎月1回納入すること。

総 則

甲・乙とは、大鉄工業株式会社（以下「甲」）と貴社（以下「乙」）と定める。

現場における施工は、この一般共通事項に従って、建設業法を遵守した上で、後工程に支障のないよう各専門工事会社が内容を理解し自主管理を行い、品質を確保する。

<<大鉄工業 安全衛生協力会 建築支部への掲載>>

AITETSU 大鉄工業 安全衛生協力会 建築支部

活動理念 ご挨拶 安全目標

会員様用コンテンツ 閲覧するためにはログインIDとパスワードが必要です。

協力会合同バトロール	活動報告	年間スケジュール	安全衛生管理計画	各種事象	役員紹介
------------	------	----------	----------	------	------

伝達事項

協力会からの伝達事項	安全推進部からの伝達事項	品質環境部からの伝達事項	生産支援部からの伝達事項	総務部からの伝達事項
■ お知らせ ■ 各種ダウンロード ■ 書類ストック	■ お知らせ ■ 各種ダウンロード ■ 書類ストック	■ お知らせ ■ 各種ダウンロード ■ 書類ストック	■ お知らせ ■ 各種ダウンロード ■ 書類ストック	■ お知らせ ■ 各種ダウンロード ■ 書類ストック

品質環境部からの伝達事項

- お知らせ
- 各種ダウンロード
- 書類ストック

<<大鉄工業 安全衛生協力会 建築支部への掲載>>



お知らせ

2024/04/05

自主検査の実施について

協力会社各位

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、弊社建築本部による某現場の社内検査において以下の指摘事項を受けましたので周知いたします。

1. 指摘事項

協力会社が実施する自主検査記録において、検査頻度※が少ない

2. 契約内容における一般共通事項について（添付資料参照）

注文書発行に伴う添付書類として一般共通事項がありますが、その中で以下の記述があります。

総則

甲・乙とは、大鉄工業株式会社（以下「甲」）と貴社（以下「乙」）と定める（中略）後工程に支障のないように各専門工事が内容を理解し自主管理を行い、品質を確保する。

よって品質確保のために各専門工事会社による自主管理を実施することとなっております。

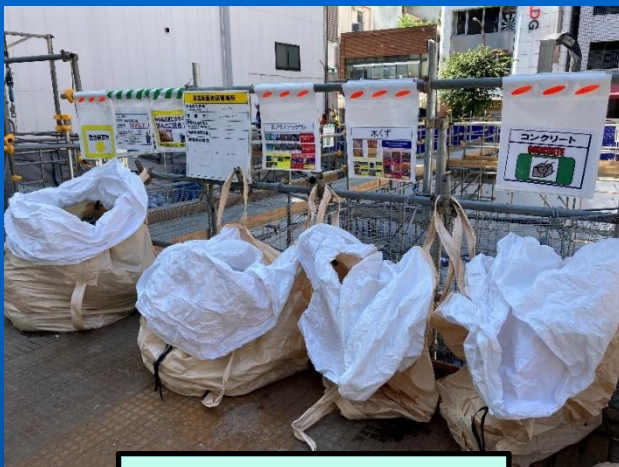
3. 今後について

適正な時期に適正な自主管理を実施いただき、品質管理に努めていただきますようお願いします。

※検査頻度はフロー・部位・各面毎など施工規模を勘案し、現場所長等と決定すること。

<<環 境>>

○【継続取り組み】 産業廃棄物の分別



下山手作業所



西中島住宅作業所



西喜連作業所



木場住宅作業所

産廃の分別は、**継続して実施**しております。**職長・作業員への指導**をお願いします。

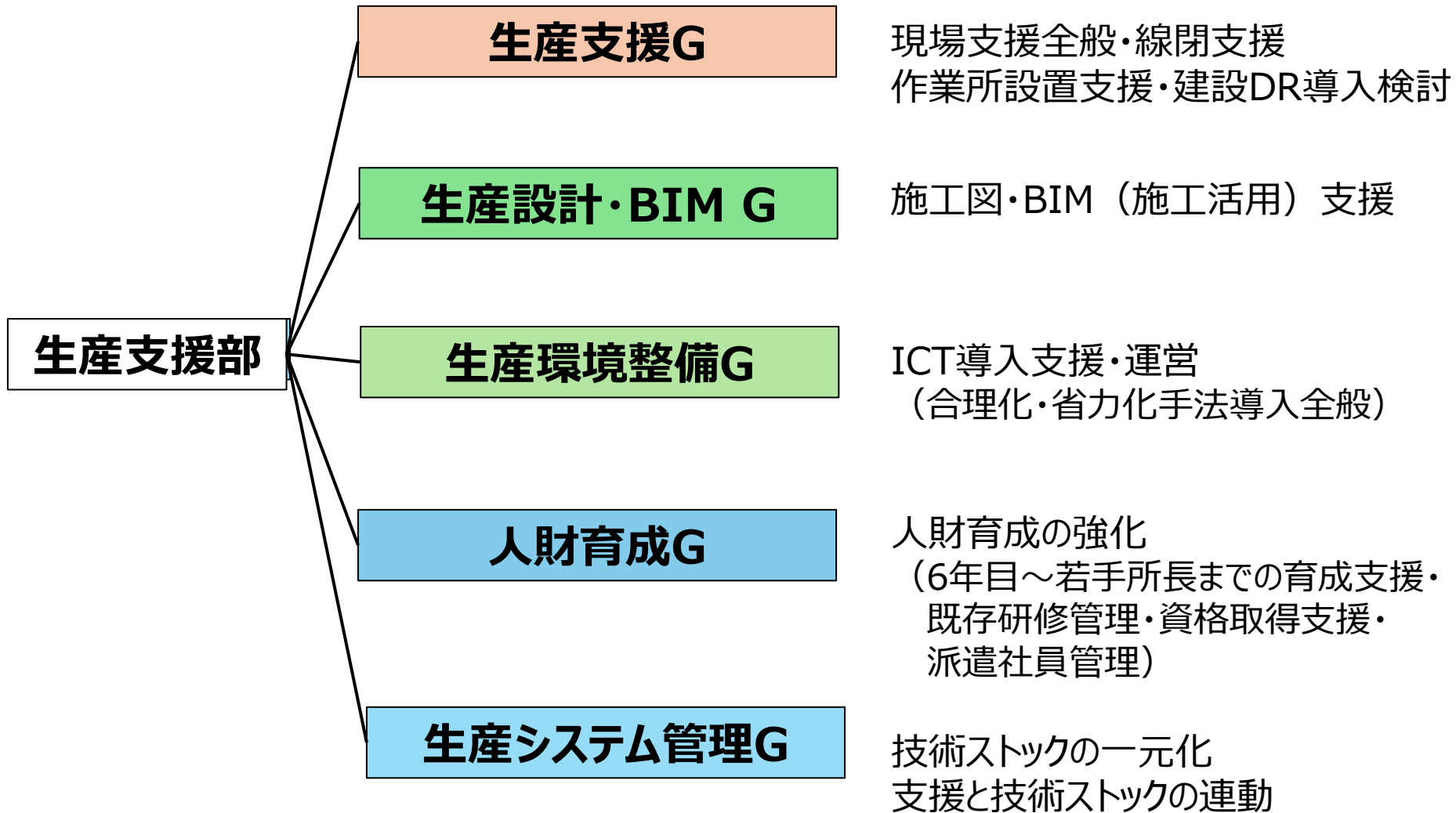
令和7年 第1回 オーナー研修

○令和7年4月 組織改正について

○CCUSについて

○建設DXの取り組み

令和7年4月 組織改正について



建設キャリアアップシステム（CCUS）について

建築支店 CCUS就業履歴

■2022（令和4）年度

年度目標：37,500 累計実数：35,103 （93.6%）

■2023（令和5）年度

年度目標：45,500 累計実数：40,918 （89.9%）

■2024（令和6）年度

年度目標：55,000 累計実数：41,893 （76.2%）

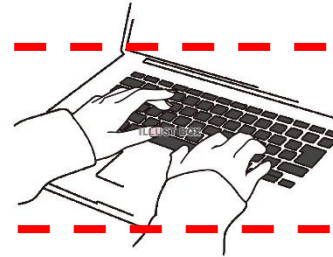
昨年度と比較して、975人増↑ となっています。

皆様のご協力、心より感謝申し上げます。

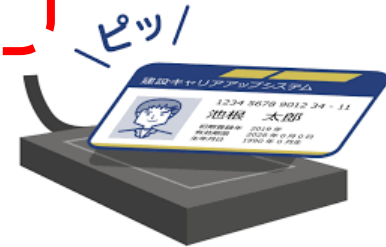
建設キャリアアップシステム（CCUS）について

建築支店の現場における就業履歴の登録方法

① サイトへの直接入力



② カードリーダーへのカードタッチ



③ 顔認証システム



どうやるのか
分からない…



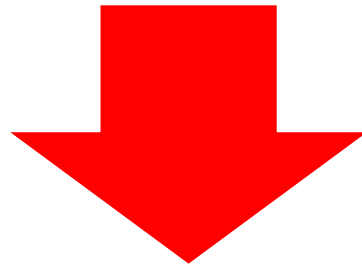
建設キャリアアップシステム（CCUS）について



各種資料の運用関係資料の第7章へアクセス

建設キャリアアップシステム（CCUS）について

サイト上で就業履歴を登録するには、
就業された現場のIDの入力が必要となります。



**グリーンサイトの作業所掲示板に
載せております。**

建設キャリアアップシステム (CCUS) について

グリーンサイト
Green-Site

はじめてガイド

企業サブ担当者 支店担当者 支店GF担当者 協力会社
大鉄工業株式会社 大鉄工業 建築支店 (元請) 田中 正隆さん

メニュー 企業管理 支店管理

グリーンファイル期限切れ情報 各種免許 3 健康診断 41 在留カード 0 許可業種 待ち 0

基本データを管理する

従業員 再請負業者 クレーン 車両

グリーンファイルを管理する
(作成・修正・提出)
グリーンファイル一覧

お知らせ

元請からのお知らせ NEW

作業所掲示板

検索区分 フリーワード 作業所名 検索

データが見つかりませんでした。

Copyright (C) MC Data Plus, Inc. All Rights Reserved.

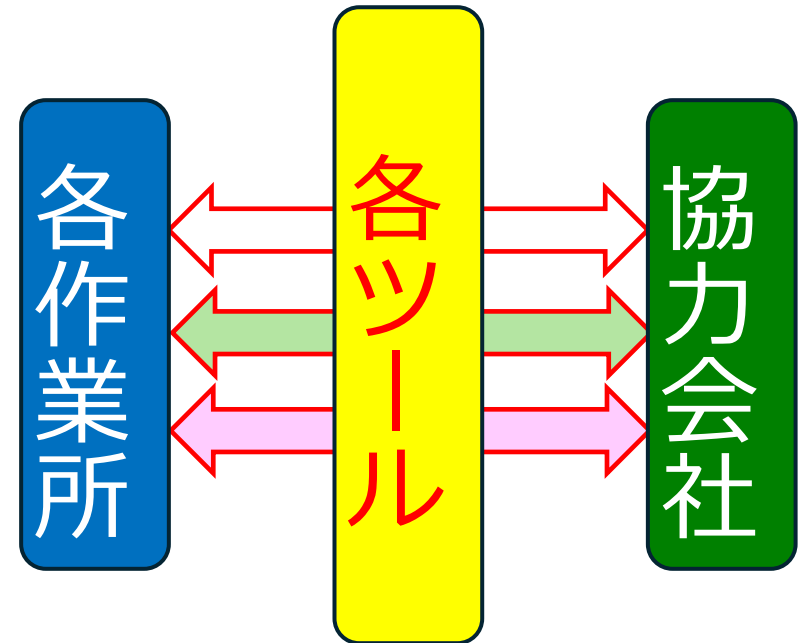
就業履歴の登録に、今年度も
引き続きご協力お願いいたします



建設DXの推進

建築支店では、**施工**における**ICTツールの活用**を進めています。

協力会社の皆さまと一緒に取組んでいきたいと思っています。



【運用・試行中のICTシステム】※一部抜粋



eYACHO



建設DXの取り組み

A r c h 安全セーフティ



今年度より、建築支店全作業所に、
「**Arch 安全セーフティ**」を導入します。

各グループからの連絡事項

A r c h 安全セーフティとは・・・



機械・足場の日常点検、持込申請をデジタル化

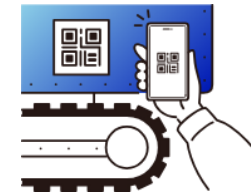
⇒ 協力会社・元請社員の**業務負担を軽減**が可能

主な機能



始業前点検のQR化

1. 点検表が汚れて書けない・・・
2. 点検表がついていない・・・
3. 点検済みか機械まで行って確認・・・



持込機械をQRから申請

1. 事前の申請ができない・・・
2. 申請した、していないの確認・・・
3. 承認されるまでに時間がかかる・・・

これらをなくします！

各グループからの連絡事項

【機械の点検方法】



QR点検の手順

1. QRをスマホで読込



2. 点検項目をタップ



3. 点検完了



各グループからの連絡事項

【点検結果の確認方法】



点検用のQRコードから確認可能



スマホで確認

現場にて携帯等で確認

点検項目	点検結果	点検日
点検項目1	良好	2025/01/01
点検項目2	良好	2025/01/01
点検項目3	良好	2025/01/01
点検項目4	良好	2025/01/01
点検項目5	良好	2025/01/01
点検項目6	良好	2025/01/01
点検項目7	良好	2025/01/01
点検項目8	良好	2025/01/01
点検項目9	良好	2025/01/01
点検項目10	良好	2025/01/01

パソコンで確認

Excel

点検項目	点検結果	点検日
点検項目1	良好	2025/01/01
点検項目2	良好	2025/01/01
点検項目3	良好	2025/01/01
点検項目4	良好	2025/01/01
点検項目5	良好	2025/01/01
点検項目6	良好	2025/01/01
点検項目7	良好	2025/01/01
点検項目8	良好	2025/01/01
点検項目9	良好	2025/01/01
点検項目10	良好	2025/01/01

事務所にてパソコンで確認

令和7年 第1回 オーナー研修

今後も建設DX促進を進めてまいります。

新しいICTツールの情報がありましたら、
情報提供をお願いします。

協力会社表彰

(株)サンテック 様
(有)沖田塗装 様
東西工業(株) 様
(株)亜紀塗装 様
三興建材(株) 様
飾磨建設(株) 様
阪神瓦斯産業(株) 様

安全衛生協力会より

曾我建築支部長

安全衛生協力会 ホームページ

ウェブ 画像 動画 知恵袋 地図 リアルタイム 一覧▼

大鉄工業(株)安全衛生協力会

検索

daitetsu-kenchiku-aek.com/ ▼

大鉄工業株式会社建築支店安全衛生協力会

このサイトは大鉄工業に協力する全ての作業者の安全と衛生面において、災害・事故等を未然に防ぐ活動を推進している「大鉄工業安全衛生協力会建築支部」が運営しています。

会員専用

ユーザー名

daitetsu

パスワード

MgWF4brT



会員様用コンテンツ

閲覧するためにはログインIDとパスワードが必要です。

協会の合同パトロール

活動報告

年間スケジュール

安全衛生管理計画

各種事象

役員紹介

伝達事項

協会からの伝達事項

- お知らせ
- 各種ダウンロード
- 書類ストック

安全推進部からの伝達事項

- お知らせ
- 各種ダウンロード
- 書類ストック

品質環境部からの伝達事項

- お知らせ
- 各種ダウンロード
- 書類ストック

生産支援部からの伝達事項

- お知らせ
- 各種ダウンロード
- 書類ストック

総務部からの伝達事項

- お知らせ **NEW**
- 各種ダウンロード
- 書類ストック

伝達事項を協会、及び建築支店の各部門毎に整理しています。

又、それぞれに『お知らせ・各種ダウンロード・書類ストック』の項目に分けております。本日の資料もここにアップ致します。



協力会パトロールの実施状況をこの場所にてお伝え致します。



各種投稿フォーム

[一覧>](#)

会員の皆様からのご意見や安全標語の投稿はこちら

募集中

期限なし

協力会へのご意見・お問い合わせ

投稿フォームです。安全標語の募集や、WEB開催時の協力会総会の評決など、このフォームを活用しています。

ここで、会員の皆様へお願いです

安全標語の募集を行います。
今回も頂いた全ての標語をこのホームページ
にアップ致します。
又、その中から選りすぐりの16点くらいを
ポスターにして各作業所に掲示して頂きます。

全ての標語をHPにアップします。
これはいい！という作品をポスターに
します。



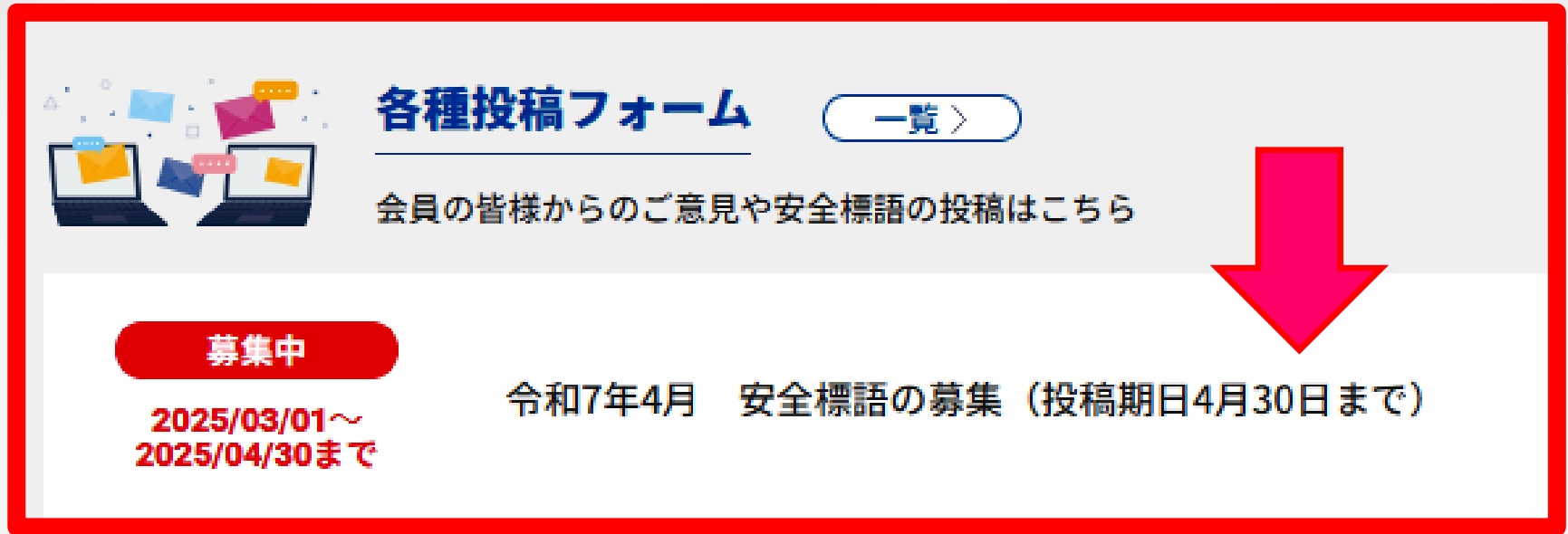
投稿期日
4月30日(水)
といたします。

テーマ：『夏の安全衛生に関
わる内容』

ユーモアあり、感動あ
りの標語を投稿してく
ださい。



標語の投稿場所



The screenshot shows a website interface for submitting slogans. At the top, there's a section titled '各種投稿フォーム' (Various Submission Forms) with a link '一覧>' (List >). Below this, a text line says '会員の皆様からのご意見や安全標語の投稿はこちら' (Please submit your opinions and safety slogans here). A large red arrow points down to a '募集中' (Recruiting) banner. The banner includes the dates '2025/03/01～2025/04/30まで' and the text '令和7年4月 安全標語の募集（投稿期日4月30日まで）' (April 2025 Safety Slogan Collection (Submission deadline April 30)).

各種投稿フォーム [一覧>](#)

会員の皆様からのご意見や安全標語の投稿はこちら

募集中

2025/03/01～
2025/04/30まで

令和7年4月 安全標語の募集（投稿期日4月30日まで）

投稿期日 4月30日（水）中

会員専用

ユーザー名

daitetsu

パスワード

MgWF4brT

安全衛生協力会 建築支部からの
ご案内は以上です。
皆様、今年度も宜しく
お願いいたします。

閉会の挨拶

小畑副支店長

スローガンの唱和

お席を立て、
垂れ幕に注目してください

「ゼロ災でいこう
ヨシ！」